

# 令和元年度 調査報告書

2020

札幌市教育委員会







# 令和元年度 調査報告書

2020

札幌市教育委員会



## 例 言

- 1 本書は、札幌市教育委員会が、国庫補助金（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）を受けて、令和元年度に実施した市内遺跡発掘調査等事業等に係わる調査報告書である。
- 2 事業期間は、平成31年4月11日～令和2年3月31日である。
- 3 令和元年度には、市内遺跡発掘調査等事業として、市内で計画される各種の開発事業に先立ち、埋蔵文化財包蔵地の保存・保護を図る資料とするため所在調査4件、試掘調査16件を実施した。
- 4 調査業務は、札幌市市民文化局文化部文化財課が担当し、仙庭伸久・秋山洋司・柏木大延・小針大志・野月寿彦・田中 亮が従事した。
- 5 本書の執筆・編集は、札幌市市民文化局文化部文化財課の野月が行った。
- 6 本書は、所在・試掘調査及び工事立会を実施したすべての地区について一覧表・位置図に掲載するとともに、それらの調査結果についてその概要を報告するものである。
- 7 本書では、位置図の背景として、札幌市共有基図（平成25年度版）を使用した。
- 8 本書では、各調査実施箇所の背景として、札幌市が所有する航空写真データ（平成22年度撮影版）を使用した。
- 9 調査で発見した資料は、札幌市市民文化局文化部文化財課で保管している。

## 凡 例

- 1 各調査の項目、挿表、挿図、写真図版に付した整理番号は、各種開発事業に係わる協議毎に札幌市で任意に付した整理番号である。
- 2 所在・試掘調査位置図に示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び可能性地の範囲は、令和2年1月31日現在のものである。
- 3 試掘坑の土層断面模式図は、各調査の内容を把握するために必要となる代表的な試掘坑の土層断面を抜粋し掲載したものである。
- 4 土層断面模式図及び遺構断面図では、黒色ないし黒褐色を呈する土層及び火床中心部に30%の網掛けを、暗褐色ないし暗灰色を呈する土層及び火床に15%の網掛けを施した。また、遺物が出土した試掘坑では、出土した層の横に「土器▶」等と、炭化物を含む層については、層の横に「炭化物▶」と記載した。
- 5 試掘調査実施箇所における調査対象範囲を白枠で、また、すべての試掘坑を白塗りで表示した。
- 6 本文中及び挿図で使用した遺構等の略号は、下記のとおりである。  
HP(House Pit)：竪穴住居跡、PT(Pit)：土坑、PH(Post Hole)：柱穴、FU(Furnace)：カマド、  
HE(Hearth)：炉跡、TT(Test Trench)：試掘坑
- 7 本報告書で用いた北（N）方位は、すべて真北である。
- 8 挿図の縮尺は、個々にスケールを入れて示した。縮尺率は下記のとおりである。  
試掘調査実施箇所：1/1000、1/2000、1/4000、1/10000  
土層断面模式図、遺構実測図等：1/20、1/40、1/60、1/400
- 9 写真図版の縮尺は、現場写真については任意で、遺物写真については2/3、1/3である。

# 目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 所在調査	1
第3章 試掘調査	7
第4章 工事立会	28

# 挿図目次

第1図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(1)	2	第10図 整理番号14-3-321 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	15
第2図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(2)	3	第11図 整理番号15-3-301 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	16
第3図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(3)	4	第12図 整理番号15-3-301 試掘調査土層断面模式図	17
第4図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(4)	5	第13図 整理番号18-3-302 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	18
第5図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(5)	5	第14図 整理番号18-3-316 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	19
第6図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(6)	6	第15図 整理番号19-3-304 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	20
第7図 所在・試掘調査 及び工事立会位置図(7)	6	第16図 整理番号19-3-310 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	21
第8図 整理番号14-3-312 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	13	第17図 整理番号19-2-302 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	22
第9図 整理番号14-3-312 試掘調査土層断面模式図	14	第18図 整理番号19-2-305 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	22



第19図	整理番号 19-2-306 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	23	第24図	整理番号 19-2-309 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	26
第20図	整理番号 19-2-307 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	23	第25図	整理番号 19-2-310 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	26
第21図	整理番号 19-2-308 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	24	第26図	整理番号 19-2-311 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	27
第22図	整理番号 19-2-308 竪穴住居跡 遺物・炭化材実測図（覆土・床面）	24	第27図	整理番号 19-2-312 試掘調査実施箇所 及び土層断面模式図	27
第23図	整理番号 19-2-308 竪穴住居跡及び付属遺構実測図	25	第28図	整理番号 17-3-323 工事立会実施箇所 及び土層断面模式図	30

## 挿表目次

第1表	令和元年度所在調査一覧	1	第3表	令和元年度工事立会一覧	29
第2表	令和元年度試掘調査一覧	12	報告書抄録		45

## 図版目次

図版1	所在調査	31	図版8	整理番号 19-2-306 試掘調査	38
図版2	整理番号 14-3-312 試掘調査	32		整理番号 19-2-307 試掘調査	38
図版3	整理番号 14-3-321 試掘調査	33	図版9	整理番号 19-2-308 試掘調査・工事立会(1)	39
	整理番号 18-3-302 試掘調査	33	図版10	整理番号 19-2-308 試掘調査・工事立会(2)	40
図版4	整理番号 15-3-301 試掘調査	34	図版11	整理番号 19-2-309 試掘調査	41
図版5	整理番号 18-3-316 試掘調査	35		整理番号 19-2-310 試掘調査	41
	整理番号 19-3-304 試掘調査	35	図版12	整理番号 19-2-311 試掘調査	42
図版6	整理番号 19-3-310 試掘調査	36		整理番号 19-2-312 試掘調査	42
	整理番号 19-2-302 試掘調査	36	図版13	整理番号 17-3-323 工事立会	43
図版7	整理番号 19-2-305 試掘調査	37			



## 第1章 調査に至る経緯

札幌市市民文化局文化部文化財課（以下「文化財課」）では、公共工事担当部局と緊密な連絡・調整を行い、埋蔵文化財の保護と円滑な公共工事の推進との調和を図るために、札幌市工事担当部局に対して文書で照会し、回答を受けた事業計画については、埋蔵文化財包蔵地分布図等と照合を行っている。照合の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地内で計画されている事業については、事業計画段階で埋蔵文化財に関する事前の協議が必要である旨を通知し、また、周知の埋蔵文化財包蔵地の隣接地で計画されている事業、おおむね 10,000 m<sup>2</sup>以上の大規模な土木工事等が計画されている事業（以下「大規模開発」）、既往の調査成果から今後も新たな埋蔵文化財が発見される可能性が高いものと考えられる琴似川流域、伏籠川流域、モエレ沼周辺の「埋蔵文化財が発見される可能性が高い地区」（以下「可能性地」）で計画されている事業について、事業計画段階で埋蔵文化財に関する事前の協議を行うことが望ましいものと回答している。令和元年度の公共事業に伴う「埋蔵文化財保護のための事前協議について」（以下「事前協議書」）の提出件数は、令和2年1月31日現在で21件（うち道路等管路工事8件）である。

民間事業については、公共事業における埋蔵文化財保護のための取扱いに準じ、文化財課が各種の開発事業計画との調整を行っている。令和元年度の民間事業に伴う調整協議書の提出件数は、令和2年1月31日現在で15件（うち道路等管路工事1件）である。

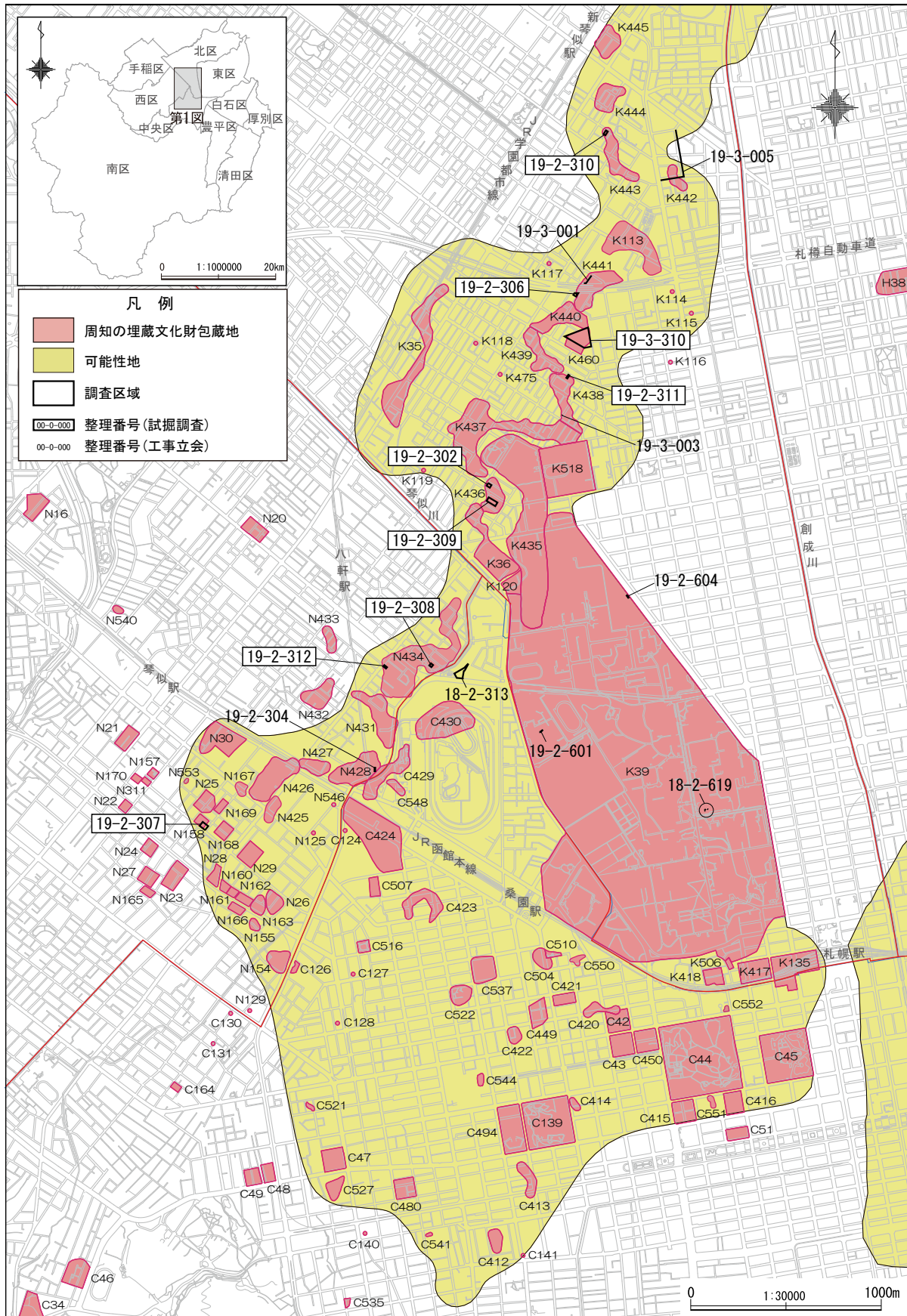
## 第2章 所在調査

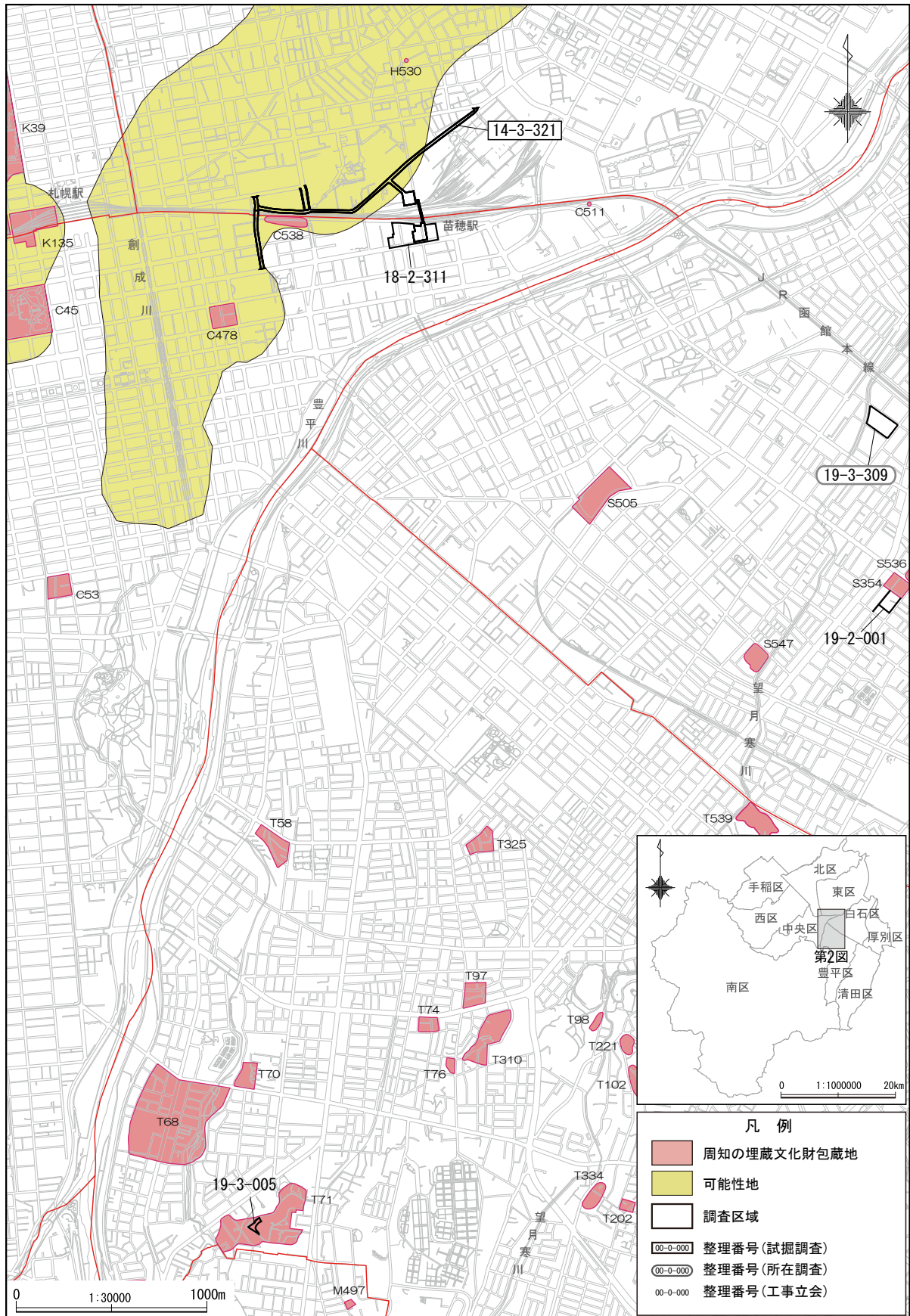
令和元年度に実施した所在調査は4件であり、調査対象面積は約 220,354 m<sup>2</sup>であった。所在調査の一覧を第1表として、所在調査の実施位置を第2・4・6・7図に掲載した。

事業の内訳は公共事業4件であり、すべて大規模開発に該当する事業であった。これらの事業に伴う所在調査の結果、新たな埋蔵文化財包蔵地は確認されず、すべて工事に着手して差し支えないものと判断された。

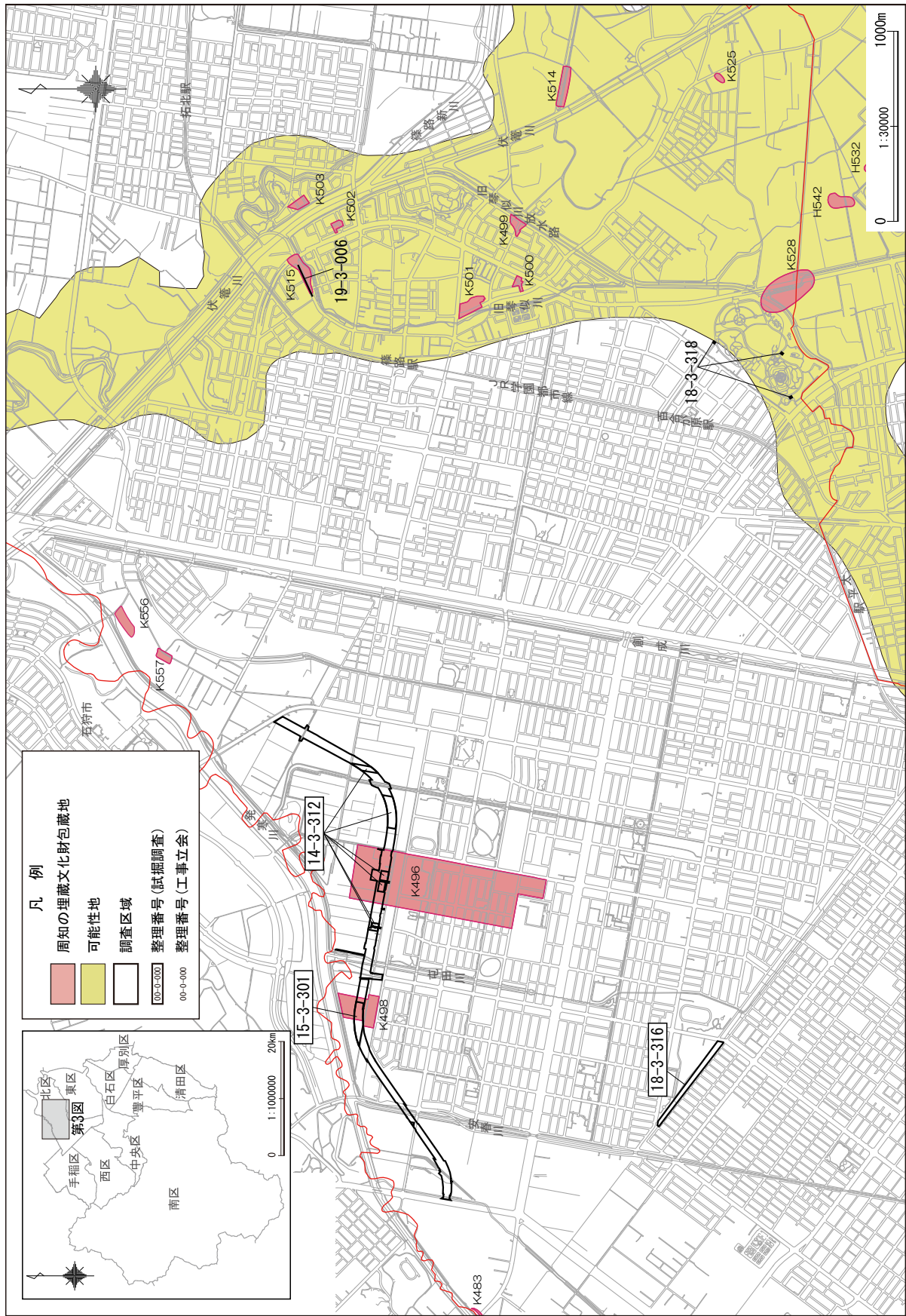
第1表 令和元年度所在調査一覧

通し番号	整理番号	周知の埋蔵文化財包蔵地	所在地	調査面積 (m <sup>2</sup> )	事業者	事業種別	調査後措置
1	18-3-310	周知外 (大規模開発)	札幌市南区真駒内	84,000.00	札幌市	工場	工事着手可
2	19-3-301	周知外 (大規模開発)	札幌市南区小金湯	69,080.00	札幌市	その他開発	工事着手可
3	19-3-303	周知外 (大規模開発)	札幌市厚別区厚別町山本	54,000.00	札幌市	その他開発	工事着手可
4	19-3-309	周知外 (大規模開発)	札幌市白石区中央3条5丁目	13,274.00	札幌市	公園造成	工事着手可

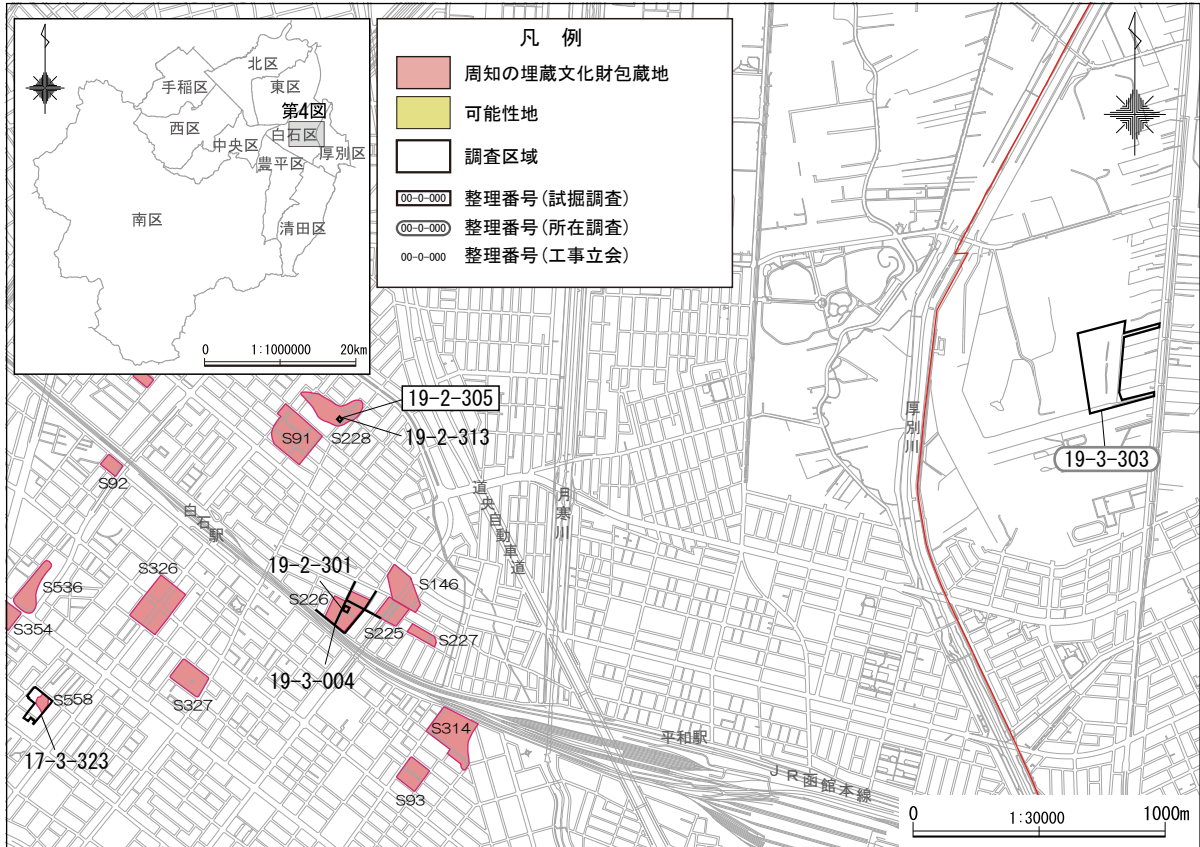




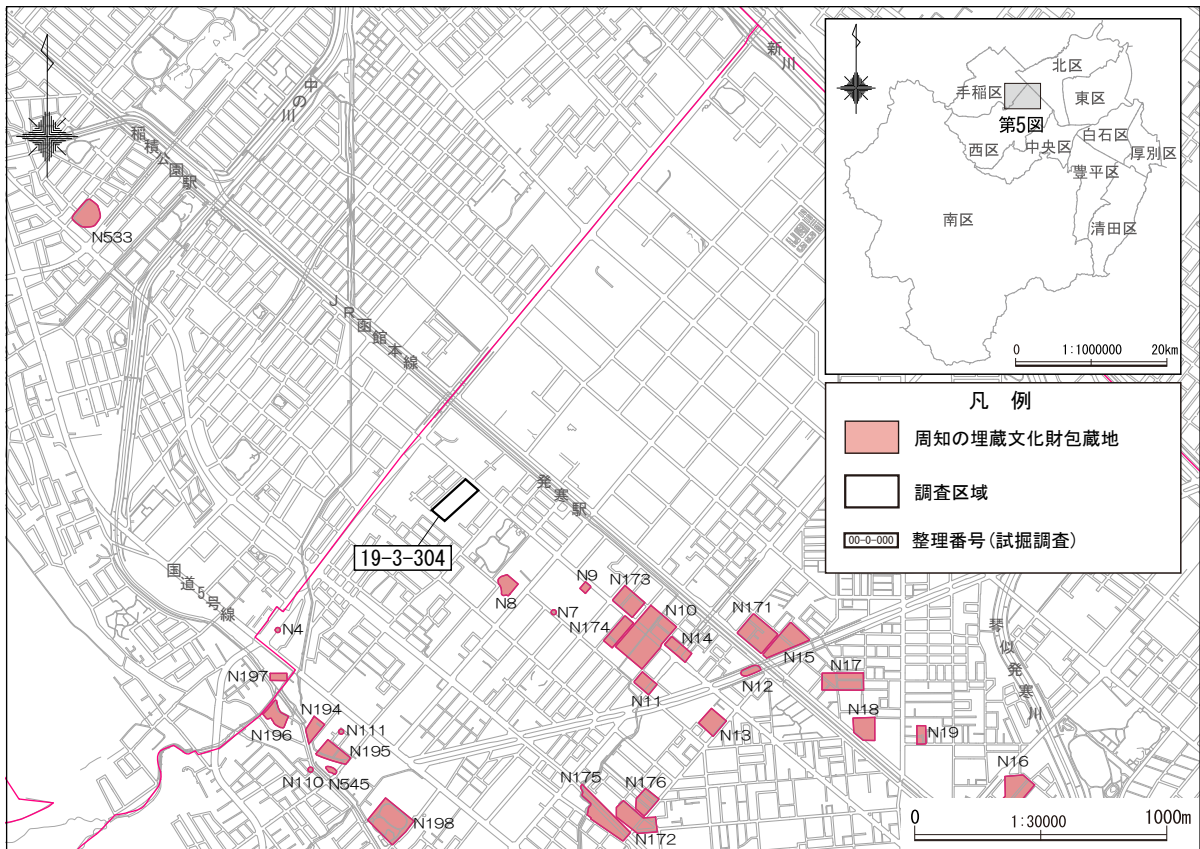
第2図 所在・試掘調査及び工事立会位置図(2)



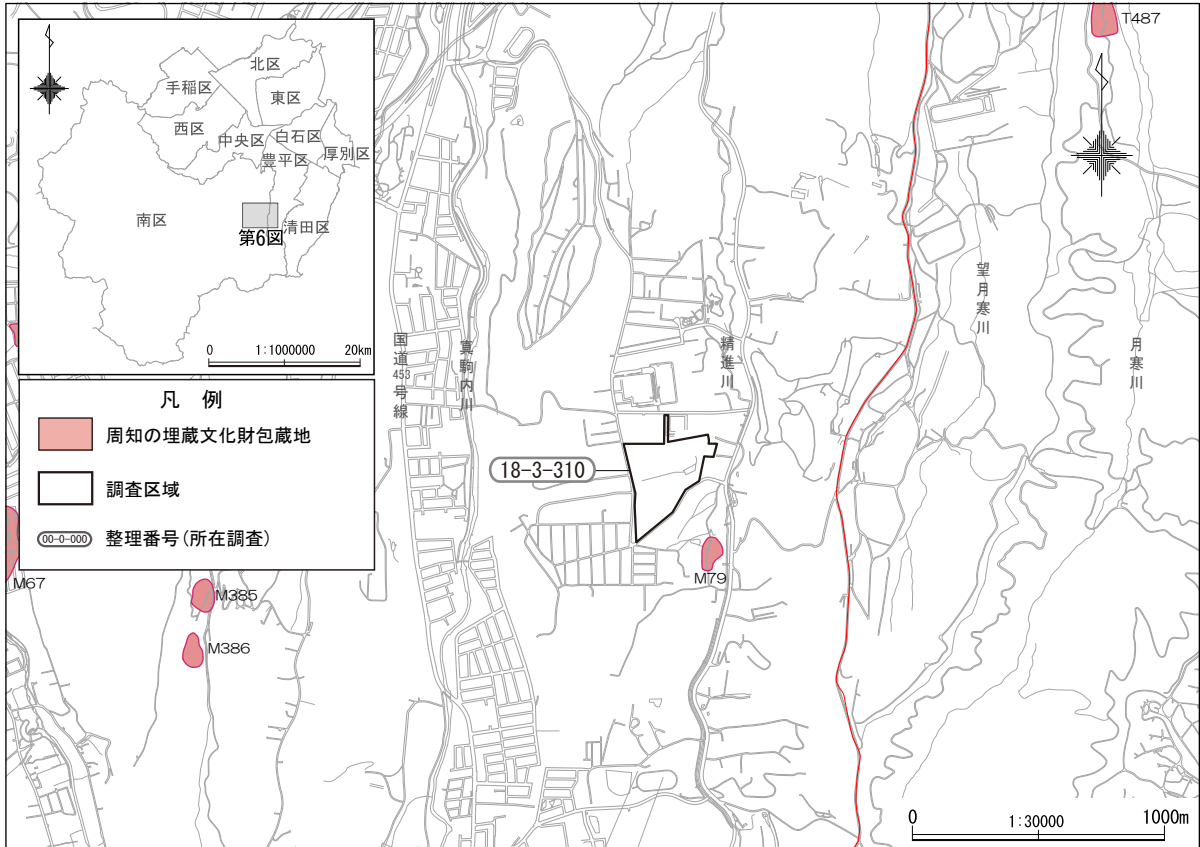
第3図 所在・試掘調査及び工事立会位置図(3)



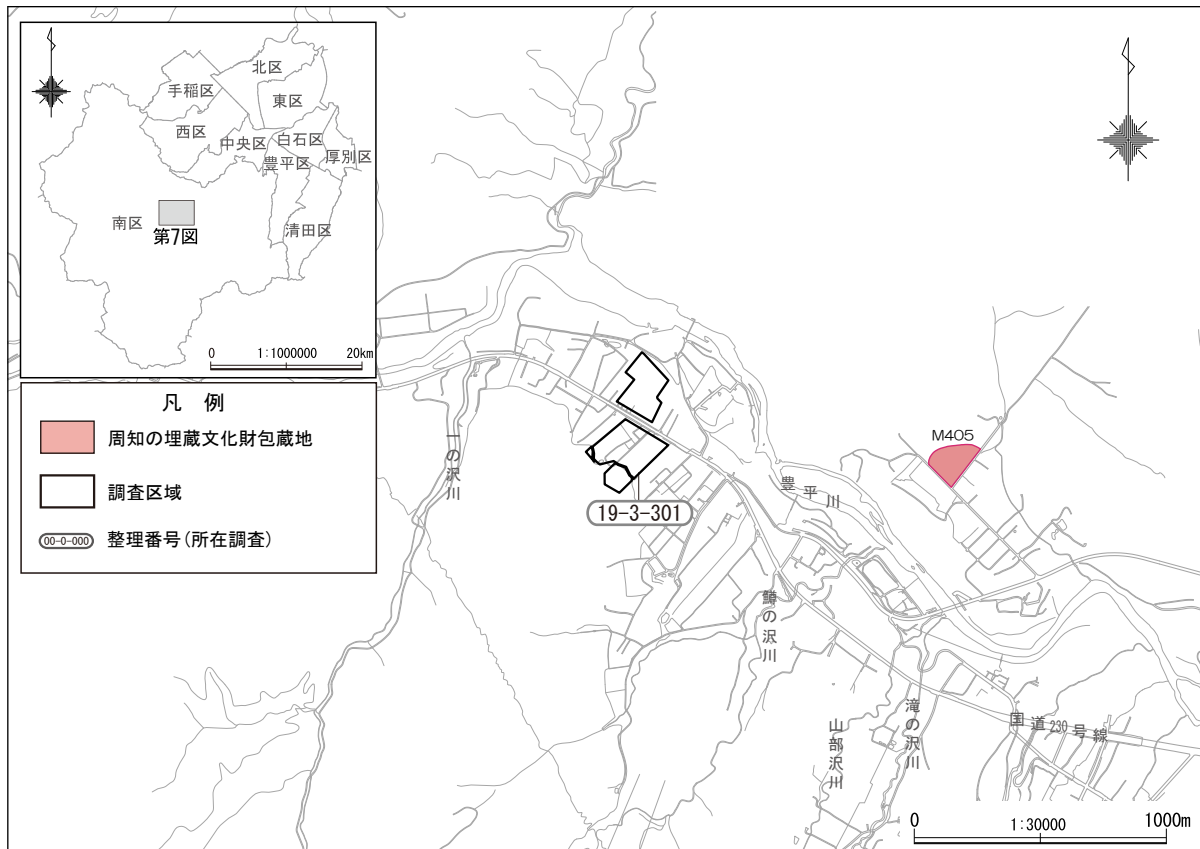
第4図 所在・試掘調査及び工事立会位置図 (4)



第5図 所在・試掘調査及び工事立会位置図 (5)



第 6 図 所在・試掘調査及び工事立会位置図 (6)



第 7 図 所在・試掘調査及び工事立会位置図 (7)



## 第3章 試掘調査

令和元年度に実施した試掘調査は16件であり、調査対象面積は約80,841㎡であった。試掘調査の成果は一覧を第2表に、試掘調査の実施位置を第1～5図に掲載した。

事業の内訳は、公共事業7件、民間事業9件（会社組織4件、個人5件）であり、このうち協議から調査の段階で周知の埋蔵文化財包蔵地に該当する事業が12件、可能性地に該当する事業が1件、大規模開発に該当する事業が3件であった。以下では、試掘調査の結果、埋蔵文化財が発見された事業5件について概要を示す。その他の事業については、埋蔵文化財が発見されなかったことから、周知の埋蔵文化財包蔵地に該当する事業については、調査後措置として慎重工事を求めることとなり、可能性地、大規模開発に該当する事業については、工事に着手して差し支えないものと判断された。

### 1 K496 遺跡：整理番号14-3-312（第3・8・9図、図版2）

事業地は、札幌市北区屯田町～北区西茨戸にかけて所在し、中央部の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地K496遺跡の北部に位置している。地形的には発寒川の右岸に広がる沖積低地に立地する。昭和29年の航空写真では、事業地の北約350mに発寒川の旧流路が確認できる。

本事業地においては、平成29年度に1次試掘及び2次試掘（小針・野月2018）、平成30年度に3次試掘（野月・小針2019）を実施している。

試掘調査では、事業地内に39箇所の試掘坑を設定した。調査の結果、全ての試掘坑で0.1m～1.0m程度の攪乱土層の下位に自然堆積層が確認された。そのうち、周知の埋蔵文化財包蔵地K496遺跡に該当するTT73-55で、現地表下-0.3mに位置する褐灰色粘土層から土器10点と礫1点が発見された。また、TT74-54からも、現地表下-0.4mに位置する褐灰色粘土層から剥片石器1点が発見された。なお、TT73-55から発見された土器は続縄文後期に相当するものである。土器3点、礫1点、剥片石器1点を図版2Gに掲載した。

1～3は深鉢の胴部である。3点ともRL帯縄文が施文される。3には三角形刺突列がみられる。4は安山岩製の礫である。5は黒曜石製の剥片である。

遺物が発見されたTT73-55とTT74-54では、遺物包含層が窪地へ向かい傾斜して堆積している状況が看取された。同様の堆積状況は、TT74-53とTT75-57でも観察されたことから、遺物包含層は埋没河川跡のような部分的な窪地地形に堆積しているものと推測され、その窪地以外の部分では、後世の開発等によって大半は削平されてしまった可能性が高いものと考えられる。

なお、周知の埋蔵文化財包蔵地K496遺跡に該当しない範囲においては、遺物包含層と考えられる土層や、遺構・遺物は確認されなかった。

この調査結果を北海道教育委員会に報告したところ、事業地においては、周知の埋蔵文化財包蔵地K496遺跡に該当する範囲については、今回、試掘調査を実施した範囲及びその範囲に隣接しているが、以前に慎重工事の回答がなされた範囲（小針・野月2018）を含めて遺物包含層の広がりを確認する必要があることから、あらためて試掘調査を実施する必要があると、その他の範囲については、工事に着手して差し支えないとの回答がなされた。

### 2 K498 遺跡：整理番号15-3-301（第3・11・12図、図版4）

事業地は、札幌市北区屯田～北区屯田町にかけて所在し、東端部の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地

K498 遺跡の中央部に位置している。地形的には発寒川の右岸に広がる沖積低地に立地する。昭和 29 年の航空写真では、事業地の北約 70m に発寒川の旧流路が確認できる。

本事業地においては、平成 29 年度に 1 次試掘（小針・野月 2018）、平成 30 年度に 2 次試掘（野月・小針 2019）を実施している。

試掘調査では、事業地内に 37 箇所の試掘坑を設定した。調査の結果、全ての試掘坑で 0.1m ～ 0.7m 程度の攪乱土層の下位に自然堆積層が確認された。そのうち、周知の埋蔵文化財包蔵地 K498 遺跡に該当する TT90-65 で、炭化物を含む黄褐色粘土質シルト層や褐灰色粘土質シルト層から剥片石器が発見された。そのため、周辺を精査したところ、堅穴住居跡の覆土であることが判明した。同様に、TT91-66 でも炭化物を含む橙色シルト層や褐灰色粘土質シルト層から土器や剥片石器が発見されたため、周辺を精査したところ、堅穴住居跡であることが判明した。これら確認された 2 軒の堅穴住居跡は、近年の耕作等により上部が削平され、覆土が 0.2m 程しか残存していなかったが、TT91-66 では、堅穴住居跡に対応する遺物包含層と考えられるにぶい黄橙色粘土質シルト層が確認されていることから、2 軒とも掘込みが浅い堅穴住居跡であると推測された。なお、TT90-65 の堅穴住居跡からは、剥片石器 7 点が、TT91-65 の堅穴住居跡からは、土器 9 点と剥片石器 11 点が発見された。

その他の試掘坑では、TT92-65 の現地表下 -0.3m に位置する攪乱土層直下のにぶい黄橙色粘土質シルト層から剥片石器 1 点が、TT94-67 の現地表下 -0.3m に位置する攪乱土層直下のにぶい黄橙色粘土質シルト層から土器 1 点と礫石器 1 点が発見された。また、TT88-63 では、攪乱土層中から剥片石器 1 点が発見されている。なお、発見されたこれらの土器は胴部片で特徴に乏しく、さらに表面の摩滅が著しいことから帰属時期の判断が難しいが、縄文中期か後期に相当するものと推測される。これらの遺物の内、土器 4 点、礫石器 1 点、剥片石器 5 点を図版 4G で掲載した。

1 は安山岩製の磨石である。断面は三角形であり、平坦な使用面が観察される。2 ～ 5 は深鉢の胴部である。摩滅が著しく、地文の観察が困難であるが、2、3、5 に RL 斜行縄文が観察される。6 ～ 8 は黒曜石製の剥片である。9 はメノウ製の剥片である。10 は黒曜石製の削器である。左側縁に内反する刃部がみられる。

この調査結果を北海道教育委員会に報告したところ、事業地においては、今回、試掘調査を実施した範囲の東側に、周知の埋蔵文化財包蔵地 K498 遺跡に該当する未調査の範囲が存在していること、さらに、南西側に隣接する範囲についても、周知の埋蔵文化財包蔵地 K498 遺跡に隣接しており、遺構・遺物の広がりが見込まれることから、それらの範囲を含めて、あらためて試掘調査を実施する必要があるとの回答がなされた。

### 3 S228 遺跡：整理番号 19-2-305（第 4・18 図、図版 7）

事業地は、札幌市白石区北郷 4 条 5 丁目に所在し、S228 遺跡の中央部南側に位置しており、地形的には札幌市東部に位置する月寒丘陵の北端部に立地する。

試掘調査では、事業地内で 10 箇所の試掘坑を設定した。試掘坑の掘削深度は、事業の予定掘削深度である現地表下 -0.8m を基準とした。調査の結果、全ての試掘坑において現地表下 -0.3m ～ -0.5m に位置する黒色シルト層から遺物が発見された。

発見された遺物は合計 313 点である。内訳は縄文土器が TT001 で 65 点、TT002 で 26 点、TT003 で 4 点、TT004 で 29 点、TT005 で 5 点、TT006 で 5 点、TT007 で 18 点、TT008 で 50 点、TT009 で 4 点、TT010 で 38 点であり、剥片石器が TT001 で 16 点、TT002 で 8 点、TT003 で 5 点、TT004 で 10 点、TT005 で 4 点、TT007 で 8 点、TT008 で 2 点、TT010 で 7 点であり、礫石器・礫が TT001 で 4 点、TT004 で 1 点、

TT005 で1点、TT008 で1点、TT010 で1点であり、土製品がTT002 で1点である。これらの遺物は、型式学的特徴から縄文中期～縄文後期に相当するものと考えられる。土器6点、土製品1点、礫石器1点、剥片石器3点を図版7Gに掲載した。

1～3は深鉢の口縁部である。1は山形突起を有し、口縁部に太い貼付帯を有する。竹管状工具による2本一対の沈線が施文される。2は口縁部に太い貼付帯を有し、その上に押引文が2条施文される。貼付帯の下部に未穿孔の円形施突がみられる。3は口縁部に太い貼付帯を有している。地文はLR斜行縄文である。4～6は深鉢の胴部資料である。地文はLR斜行縄文である。4は垂下する貼付帯と竹管状工具による刺突列と、2本一対の沈線が施文される。5と6は2本一対の横走する沈線と斜行する沈線が観察される。7はスタンプ型土製品である。全体的に施文は見られない。8は片岩製の磨製石斧である。表裏両面とも良く研磨されており、ほぼ完形である。9はメノウ製の石鏃である。細身で断面は円形に近い。完形である。10と11は黒曜石製の石鏃である。10は刃部が主に腹面側からの急角度の加工によって作出されている。完形である。11は尖頭部から左側縁にかけて欠損している。右側縁は刃部再生したものと考えられる。

なお、遺構については、黒色シルト層除去後に精査を行ったが、確認されなかった。

発見された遺物包含層は、多少の凹凸が見られるものの、ほぼ平坦に堆積していることから、隣接する札幌市立北郷小学校のグラウンド部分で実施した発掘調査（出穂2009）を参考とすると、同地点から続く平坦部の一部であると推測される。

この調査結果を受けて、札幌市教育委員会より事業者に対して、今回の工事計画では基礎掘削深度が遺物包含層に至ることから、住宅基礎工事の掘削の際に埋蔵文化財の有無を確認するための工事立会が必要との回答を行った。

しかし、回答後に事業者から工事計画を変更する意向が示され、工事計画は取り下げとなった。

#### 4 N158 遺跡：整理番号 19-2-307（第1・20 図、図版 8E～H）

事業地は、札幌市西区二十四軒3条3丁目に所在し、一部がN158遺跡の南端部に位置しており、地形的には発寒川扇状地の東側の扇端部付近に立地する。

試掘調査では、事業地内で9箇所の試掘坑を設定した。試掘坑の掘削深度は、事業の予定掘削深度である現地表下-1.5mを基準とした。

調査の結果、全ての試掘坑で0.2m～0.5m程の攪乱土層と盛土が確認され、その直下から自然堆積層が確認された。確認された自然堆積層には、TT002やTT007等西側の試掘坑において、黒色ないしは黒褐色を呈するシルトないしは粘土質シルトの土層が確認された。これらの土層は、自然地形の低い部分で確認されており、そのため、おおむねTT002からTT007の方向に沢状の落ち込みが存在したものと考えられる。これは、最下層で確認された砂礫層も同様の傾向であり、事業地の東側から小規模な凹凸を繰り返しながら、事業地の西側に傾斜していく地形であったものと考えられる。また、これらの土層が確認されなかった試掘坑においては、後世の畑地整備等による土地利用の過程において削平・攪拌されたものと考えられる。

以上から、事業地の旧地形は、おおむね事業地の東側から西側に向かって傾斜し、現在よりも起伏のある地形であったものと推察される。

一方、事業地内の攪乱土層において、剥片石器5点が採集された。全て図版8Hに掲載した。1～5は黒曜石製の剥片である。1は原礫面が残存し、2は岩体内に粒状の斑晶が顕著に観察される。これらの遺物については、事業地の畑地整備等による土地利用の過程において、起伏のある旧地形を均す

ための削平や盛土が繰り返されていたと推測されることから、遺物包含層との関係や帰属時期等は不明である。

この調査結果を受けて、札幌市教育委員会より事業者に対して、今回の試掘調査では遺物が攪乱土層から発見されたものの、他に遺物包含層や遺構・遺物は確認されなかったことから、周知の埋蔵文化財包蔵地 N158 遺跡に該当する部分については慎重に工事を施工し、その他の範囲については、工事に着手して差し支えないとの回答を行った。

## 5 N434 遺跡：整理番号 19-2-308（第 1・21～23 図、図版 9・10）

事業地は、札幌市西区八軒 6 条東 5 丁目に所在し、N434 遺跡の中央部南側に位置しており、地形的には札幌市北部に広がる沖積平野に立地する。明治 29 年に陸地測量部が製版した地形図『北海道假製五万分一圖 札幌第十號 札幌』によると、藻岩山の北東斜面や北斜面を源とした河川が、事業地の南約 60m に示されている。

試掘調査では、事業地内で 8 箇所の試掘坑を設定した。試掘坑の掘削深度は、事業の予定掘削深度である現地表下 -0.8m を基準とした。

調査の結果、全ての試掘坑において現地表下 -0.1～0.7m の攪乱土層下位で自然堆積層が認められた。そのうち、TT001 において現地表下 -0.5m で炭化材や焼土を含む粘土質シルト層が確認され、精査したところ遺物が発見された。そのため、試掘坑を拡張し遺物包含層の広がり等の確認をしたところ、竪穴住居跡の覆土であることが判明した。発見された竪穴住居跡の上部は、後世の開発等により削平されてしまったものと考えられ、覆土が 0.2 m 程しか残存していなかった。なお、竪穴住居跡の周囲や他の試掘坑を調査したが、この竪穴住居跡に対応すると考えられる遺物包含層や遺構・遺物は発見されなかった。後世の開発等により削平されて消失したものと考えられる。

竪穴住居跡覆土及び床面からは、土器が 37 点、礫が 83 点の合計 120 点の遺物が発見されている。発見されたこれらの遺物は、型式学的特徴から擦文文化期に相当するものと考えられる。

その他の試掘坑では、TT003 において埋没河川と推測される南東方向への土層の落ち込みが確認された。

この調査結果を受けて、札幌市教育委員会より事業者に対して、今回の工事計画では基礎掘削深度が竪穴住居跡に至ることから、住宅基礎工事の掘削の際に埋蔵文化財の有無を確認するための工事立会が必要との回答を行った。

工事立会は住宅基礎工事の掘削時に実施した。調査の結果、試掘調査において確認された竪穴住居跡は、長軸が 4.2m 程、短軸が 3.8m 程の南 - 北方向に長軸を有する隅円長方形の平面形を呈していた。ただし、竪穴住居跡の上部は、後世の開発等によって大半は削平されている状況であったことから、本来の規模は一回り以上大きくなるものと推測される。床面直上には、建築部材と考えられる形が残存した炭化材や焼土粒を多く含む土層が堆積していたことから、焼失住居と考えられる。床面は、中央部がやや盛り上がり、壁際が低くなる緩やかなマウンド状を呈していた。付属遺構としては、南壁の中央付近にカマド (FU01) 1 基が敷設され、その他に竪穴住居跡のほぼ中央に炉跡 (HE01) が 1 基、北西コーナーの近い位置に土坑 (PT01) が 1 基、南東コーナーと北東コーナーの近い位置に柱穴がそれぞれ 1 基 (PH01・PH02) 確認された。

カマドは、左右の袖は残存しておらず、破壊されたものと推測される。火床は、焚き口から煙道にかけて歪な楕円形状の平面形を呈しており、上部に灰層と考えられる焼骨片を含む土層が残存していた。煙道は、掘込みによって作出されたものと考えられ、竪穴住居壁面から 0.4m 程と短いものであ

り、煙道の底面は煙出口に向かい緩やかに上昇していた。土坑は、長軸が0.9m程、短軸が0.7m程の隅円長方形の平面形を呈しており、竪穴住居床面からの深さは0.4m程であった。覆土に焼土粒や炭化材を含む土層が認められ、その土層内から土器が1点発見されている。底面は平坦であった。炉跡は、長軸が1.2m、短軸が0.6m程の三角形に近い平面形を呈しており、長軸が南東-北西方向であり、竪穴住居跡の長軸方向とややズレが生じていた。火床の上部に焼骨片を含む灰層が残存していた。2基の柱穴は直径0.2m程の円形の平面形を呈しており、竪穴住居床面からの深さは、PH01が0.2m程、PH02が0.06m程と浅いものであった。また、両柱穴とも底面は平坦ではなく、やや丸みを帯びていた。

遺物は、試掘調査分と合わせて369点が発見された。内訳は、擦文土器188点、須恵器3点、礫177点、剥片石器1点である。図版10Eでは、12点を掲載した。

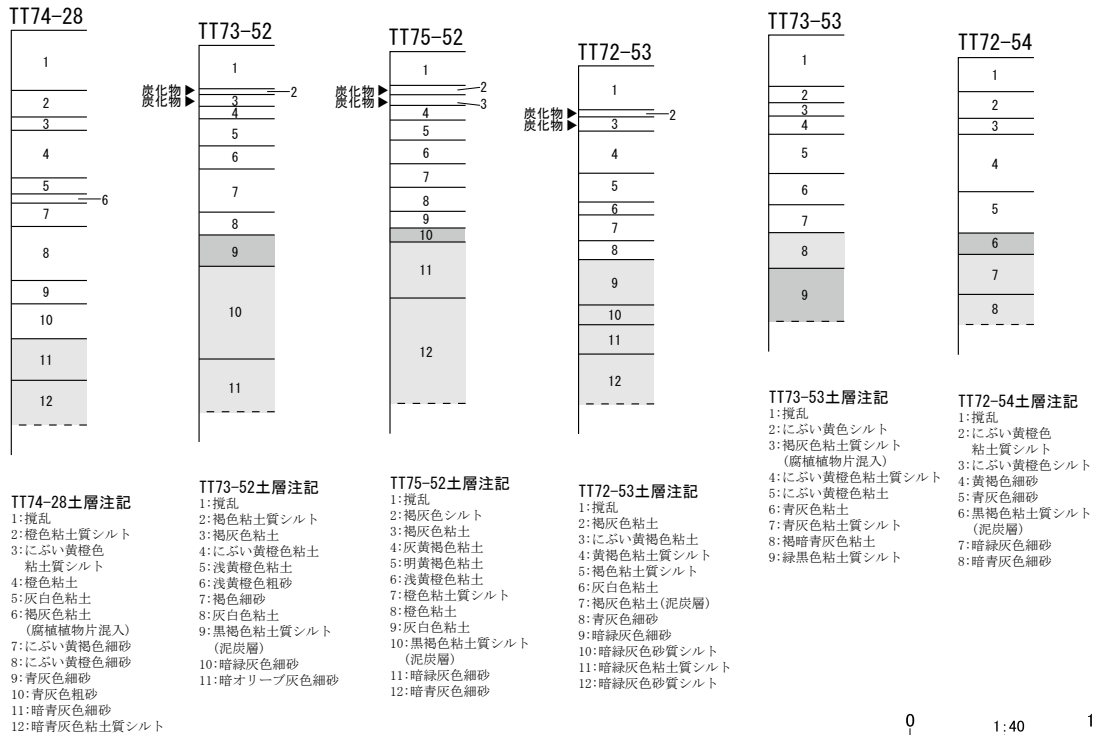
1と2は甕の同一個体と考えられる資料である。口縁部から頸部にかけては横走沈線を地文とし、2本一対の斜行沈線と垂下する沈線と刺突列による文様を施し、鋸歯状の刺突が施された粘土紐により区画されている。3～6は坏である。3は坏の底部である。底面に5箇所切り込みがみられる。4～6は内面が黒色処理され、4は底部が外側に膨らむ。5はロクロ成形で底面に回転糸切り痕がみられる。6は底部が厚く作出され、体部は急角度で立ち上がる。7～8は須恵器坏の口縁部である。3点とも断面形状から別個体と考えられる。10・11は礫である。調査では掲載した礫と同程度の大きさの礫を多量に発見した。これらの礫の平均最大長は6.3cm程、平均最大幅は4.6cm程、平均重量が111.3g程であった。12は黒曜石製の剥片である。上下端部に対となる小剥離面が観察されることから、両極打撃で剥離されたものと考えられる。左側縁に原礫面が残存する。

第2表 令和元年度試掘調査一覧

通し番号	整理番号	周知の埋蔵文化財包蔵地	所在地	調査対象面積(m <sup>2</sup> )	事業者	事業種別	掘削面積(m <sup>2</sup> )	調査後措置	特記事項
1	14-3-312	K496遺跡	札幌市北区屯田町～北区西茨戸	15,780.00	札幌市	道路	107.0	工事着手可 協議継続 未調査区域	縄文土器、 石器
2	14-3-321	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北3条東11丁目ほか	6,245.00	札幌市	道路	15.0	工事着手可 未調査区域	遺構・遺物なし
3	15-3-301	K498遺跡	札幌市北区屯田～北区屯田町	8,216.00	札幌市	道路	126.0	協議継続 未調査区域	竪穴住居跡、 縄文土器、石器
4	18-3-302	周知外 (大規模開発)	札幌市東区本町2条7丁目	13,117.00	札幌市	学校建設	72.0	工事着手可	遺構・遺物なし
5	18-3-316	周知外 (大規模開発)	札幌市北区屯田4条9・10丁目	13,600.00	札幌市	公園造成	24.0	工事着手可	遺構・遺物なし
6	19-3-304	周知外 (大規模開発)	札幌市西区発寒8条14丁目	11,980.63	札幌市	その他開発	54.0	工事着手可	遺構・遺物なし
7	19-3-310	K460遺跡	札幌市北区北31条西9丁目	8,024.00	札幌市	その他開発	105.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
8	19-2-302	K436遺跡	札幌市北区北25条西13丁目	325.04	民間個人	個人住宅	24.0	慎重工事	遺構・遺物なし
9	19-2-305	S228遺跡	札幌市白石区北郷4条5丁目	224.79	民間会社	個人住宅	81.5	協議取下げ	縄文土器、石器
10	19-2-306	K441遺跡	札幌市北区北32条西10丁目	354.00	民間個人	住宅	21.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
11	19-2-307	N158遺跡	札幌市西区二十四軒3条3丁目	965.40	民間個人	住宅	27.0	慎重工事 工事着手可	石器
12	19-2-308	N434遺跡	札幌市西区八軒6条東5丁目	211.70	民間会社	個人住宅	25.0	工事立会	竪穴住居跡、 擦文土器、石器
13	19-2-309	K436遺跡	札幌市北区北25条西13丁目	1,182.02	民間会社	住宅	30.0	慎重工事 工事着手可	遺構・遺物なし
14	19-2-310	K443遺跡	札幌市北区北38条西7丁目	283.09	民間会社	住宅	21.0	慎重工事	遺構・遺物なし
15	19-2-311	K438遺跡	札幌市北区北29条西10丁目	167.31	民間個人	個人住宅	10.0	慎重工事	遺構・遺物なし
16	19-2-312	N434遺跡	札幌市西区八軒5条東5丁目	165.28	民間個人	個人住宅	10.0	慎重工事	遺構・遺物なし

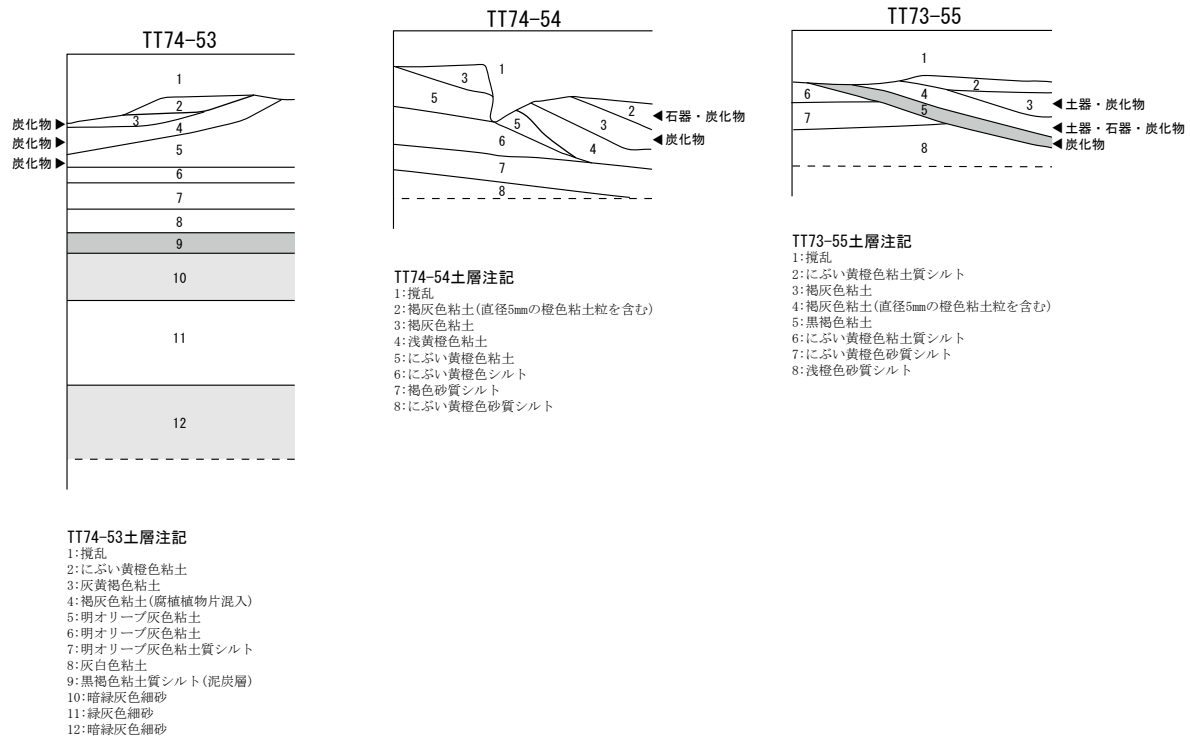


標高3.000m



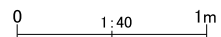
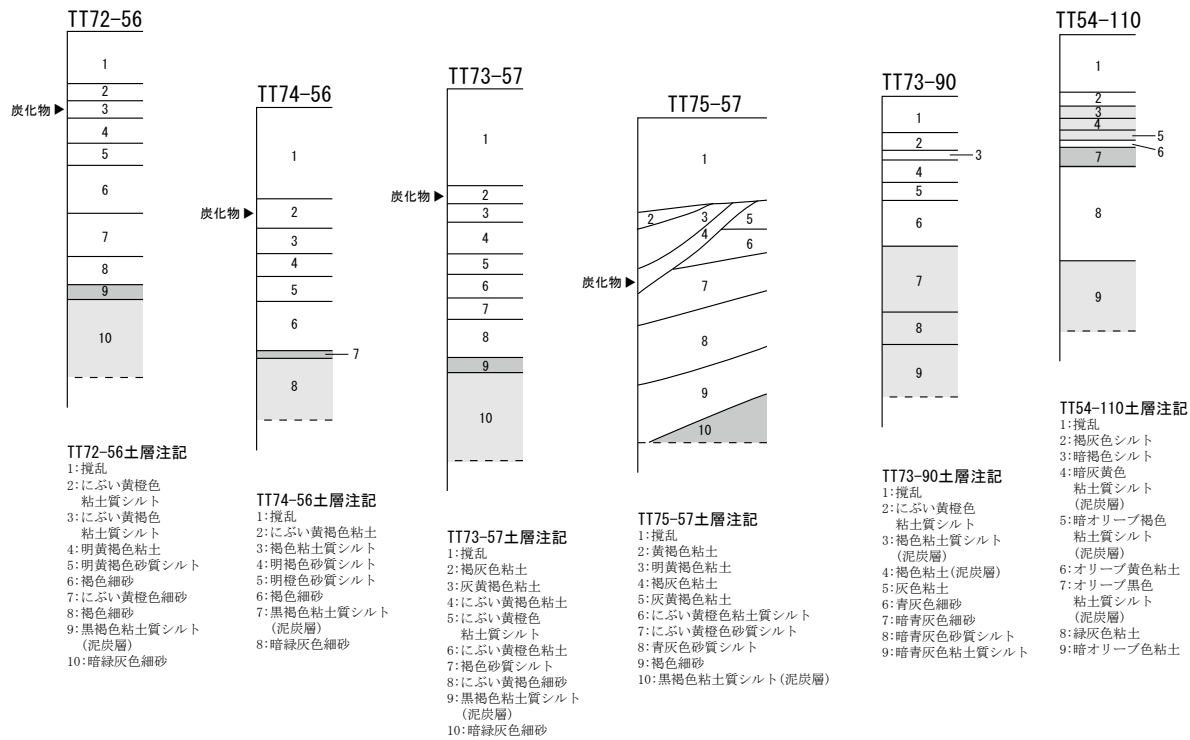
第8図 整理番号 14-3-312 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

標高3.000m



標高3.000m

標高1.500m



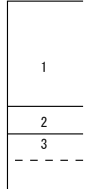
第9図 整理番号 14-3-312 試掘調査土層断面模式図





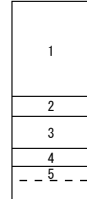
標高14.500m

TT18-96



TT18-96土層注記  
1:盛土  
2:黄褐色シルト  
3:黄褐色粘土質シルト

TT06-121



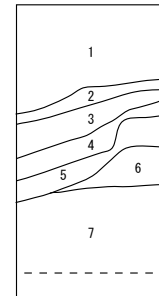
TT06-121土層注記  
1:盛土  
2:明黄褐色砂質シルト  
3:明黄褐色シルト  
4:黄褐色砂質シルト  
5:明黄褐色砂質シルト

TT03-123



TT03-123土層注記  
1:攪乱  
2:黄褐色粘土質シルト  
3:明黄褐色粘土質シルト(炭化物含む)  
4:にぶい黄褐色粘土(炭化物含む)  
5:明黄褐色粘土  
6:明黄褐色粘土質シルト

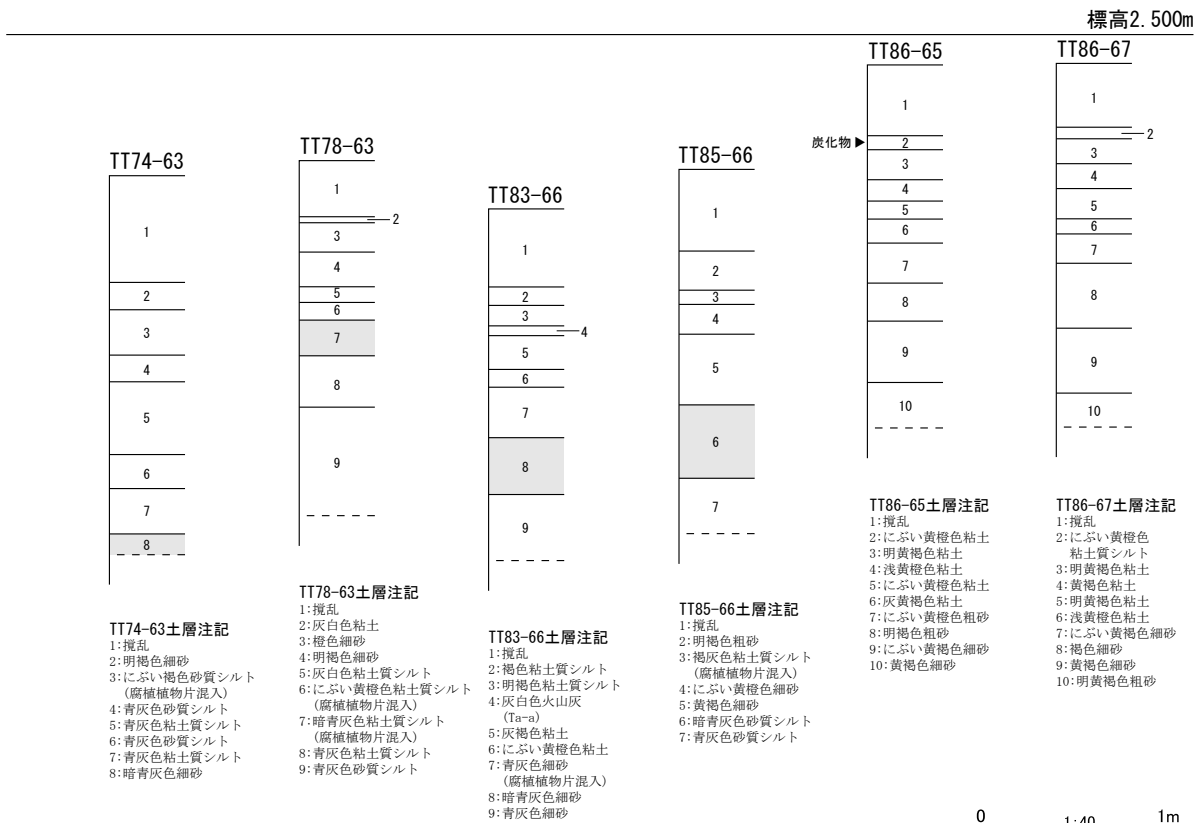
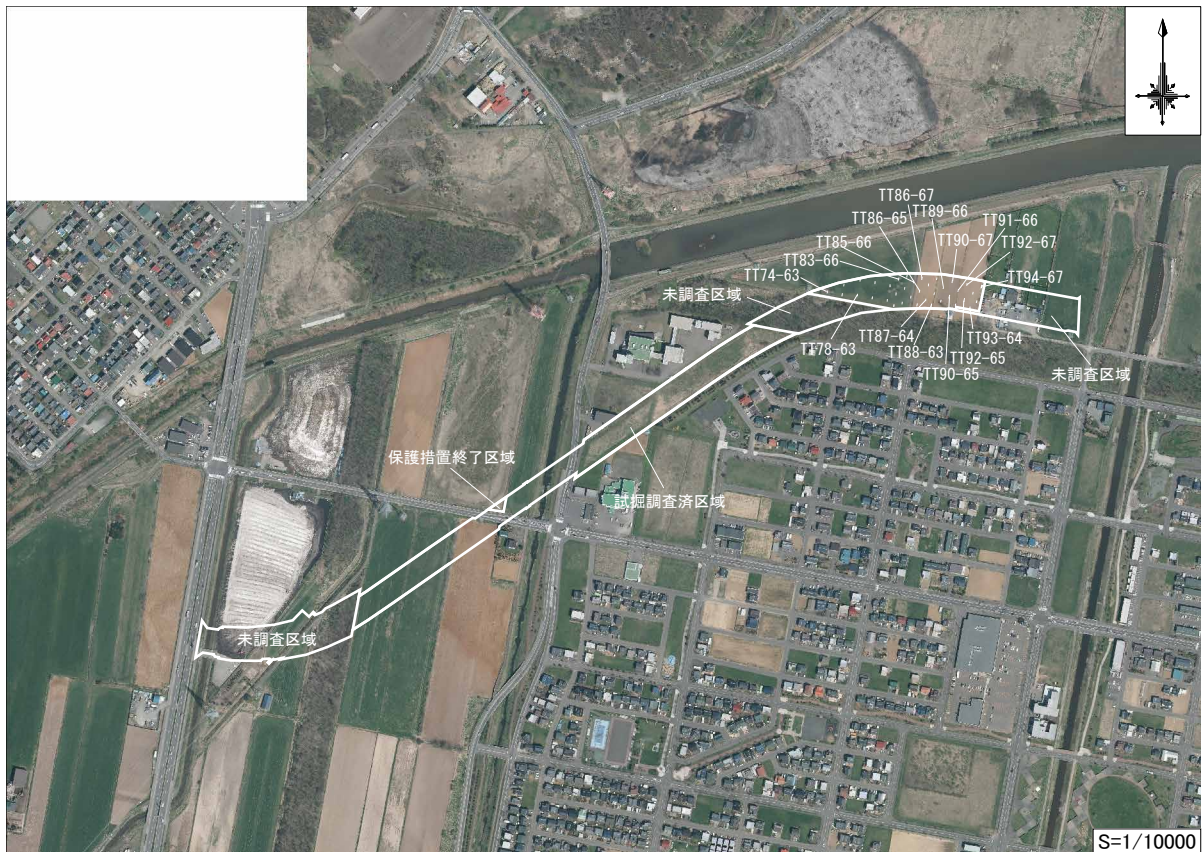
TT02-125



TT02-125土層注記  
1:攪乱  
2:黄褐色シルト  
3:黄褐色粘土質シルト  
4:黄褐色砂質シルト  
5:にぶい黄褐色砂礫  
6:にぶい黄褐色砂礫  
7:にぶい黄褐色粗砂

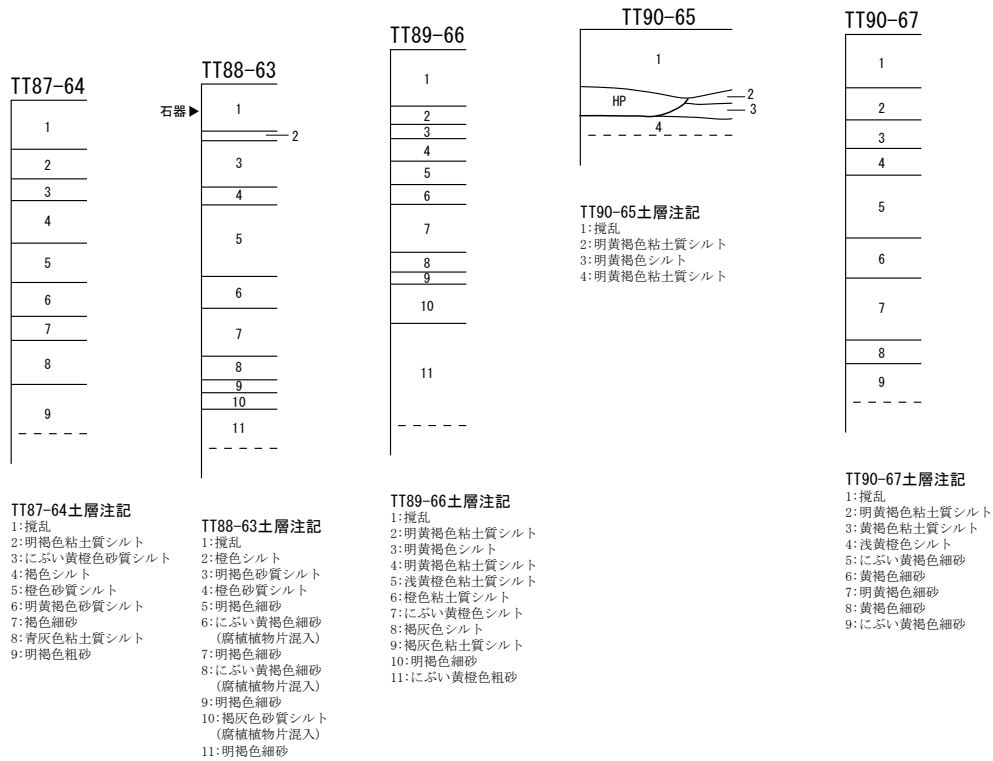
0 1:40 1m

第10図 整理番号 14-3-321 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

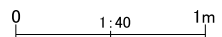
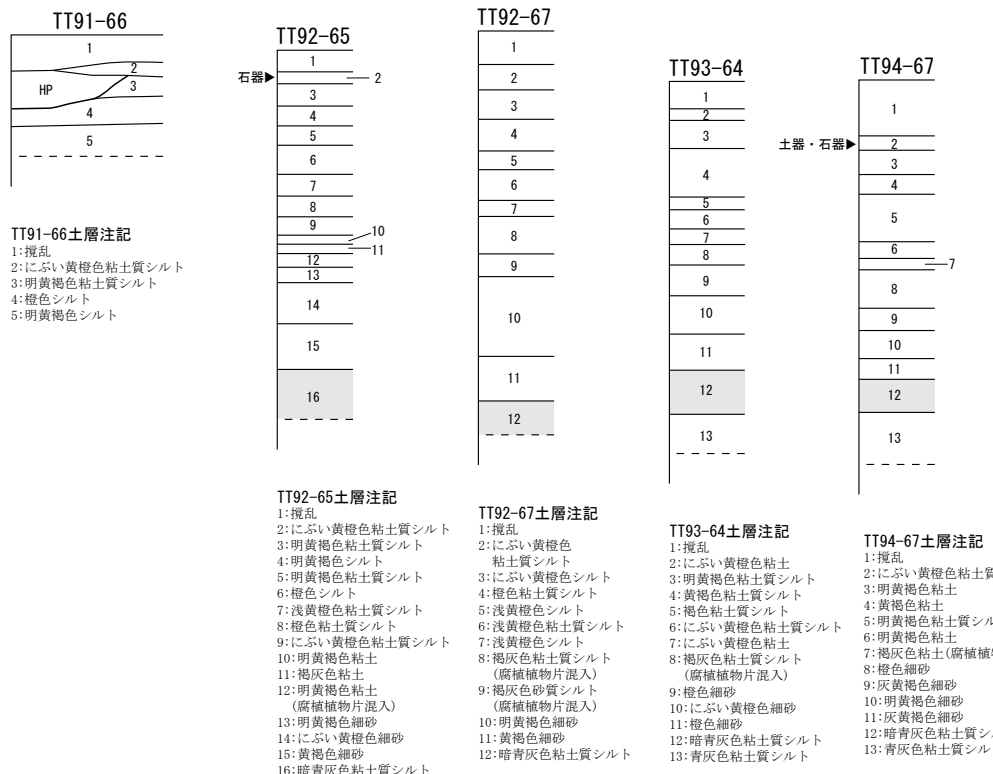


第 11 図 整理番号 15-3-301 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

標高3.000m



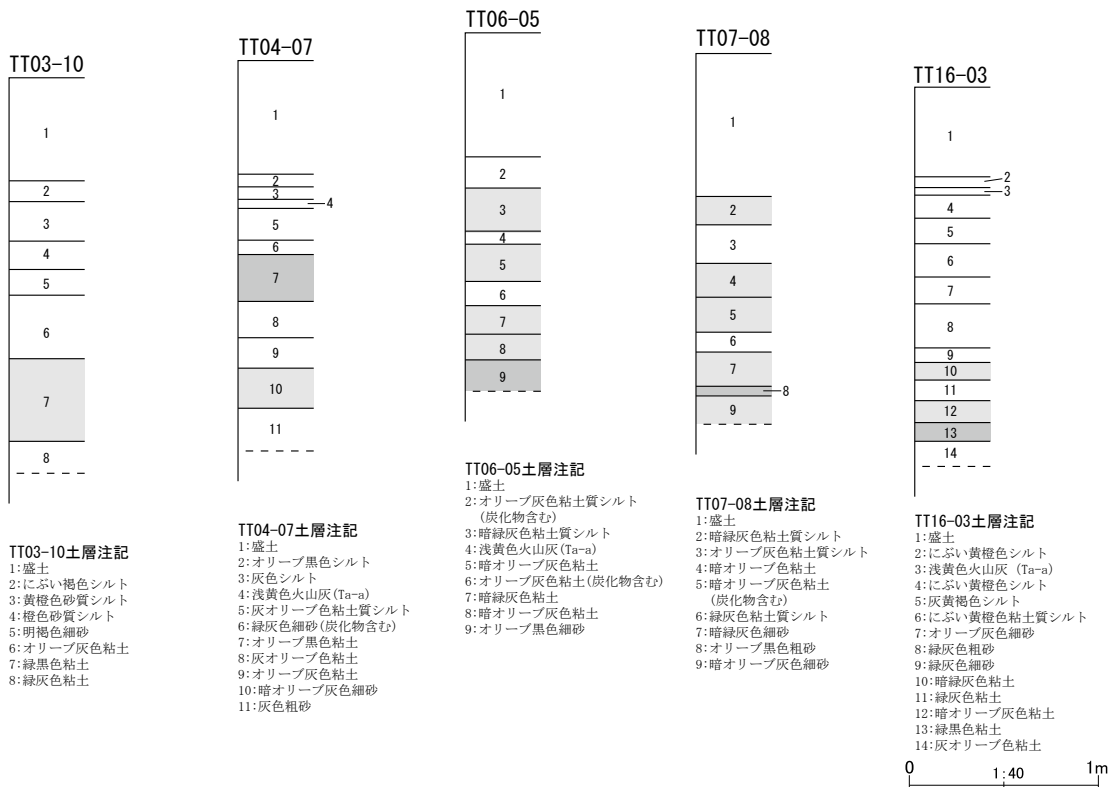
標高3.000m



第12図 整理番号 15-3-301 試掘調査実土層断面模式図



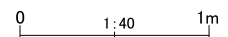
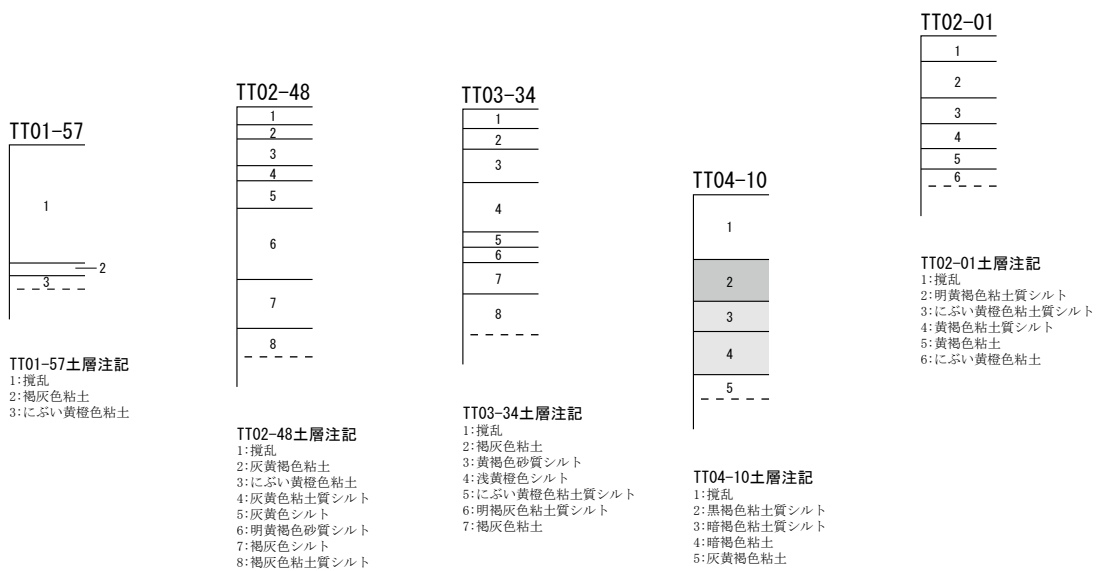
標高11.500m



第 13 図 整理番号 18-3-302 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高4.000m

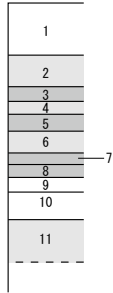


第14図 整理番号 18-3-316 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



標高7.000m

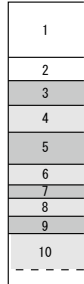
TT05-01



TT05-01土層注記

- 1: 盛土
- 2: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 3: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 4: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 5: 黒褐色粘土(泥炭)
- 6: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 7: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 8: 黒褐色粘土(泥炭)
- 9: オリーブ灰色細砂
- 10: オリーブ灰色砂質シルト
- 11: 暗オリーブ灰色細砂

TT03-07



TT03-07土層注記

- 1: 盛土
- 2: 攪乱
- 3: 黒色粘土
- 4: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 5: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 6: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 7: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 8: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 9: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 10: 暗褐色粘土質シルト

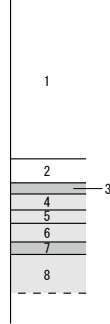
TT06-11



TT06-11土層注記

- 1: 攪乱
- 2: 黒色粘土質シルト
- 3: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 4: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 5: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 6: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 7: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 8: 暗褐色粘土
- 9: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 10: 暗褐色粘土

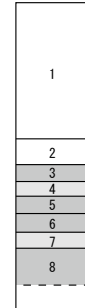
TT03-15



TT03-15土層注記

- 1: 盛土
- 2: 攪乱
- 3: 黒色粘土
- 4: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 5: 暗褐色粘土(泥炭)
- 6: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 7: 黒褐色粘土
- 8: 暗褐色粘土質シルト

TT05-17



TT05-17土層注記

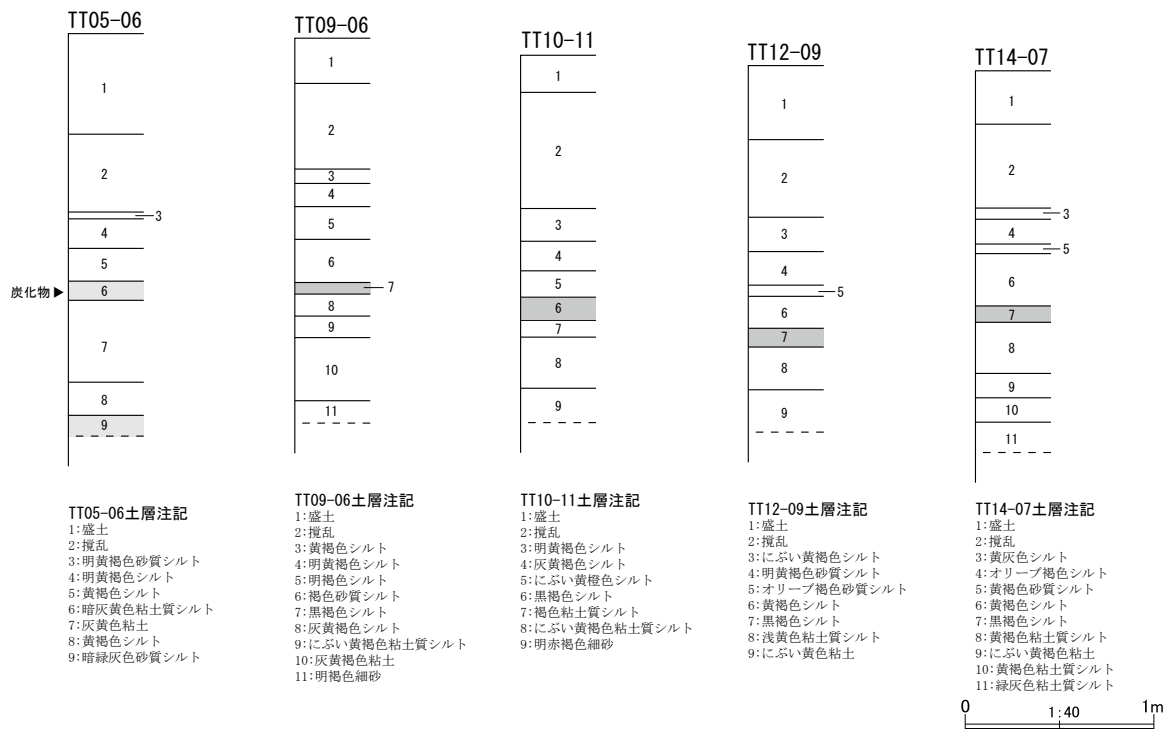
- 1: 盛土
- 2: 攪乱
- 3: 黒色粘土
- 4: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 5: 黒褐色粘土質シルト(泥炭)
- 6: 黒褐色粘土(泥炭)
- 7: 暗褐色粘土質シルト(泥炭)
- 8: 黒色粘土質シルト(泥炭)

0 1:40 1m

第 15 図 整理番号 19-3-304 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



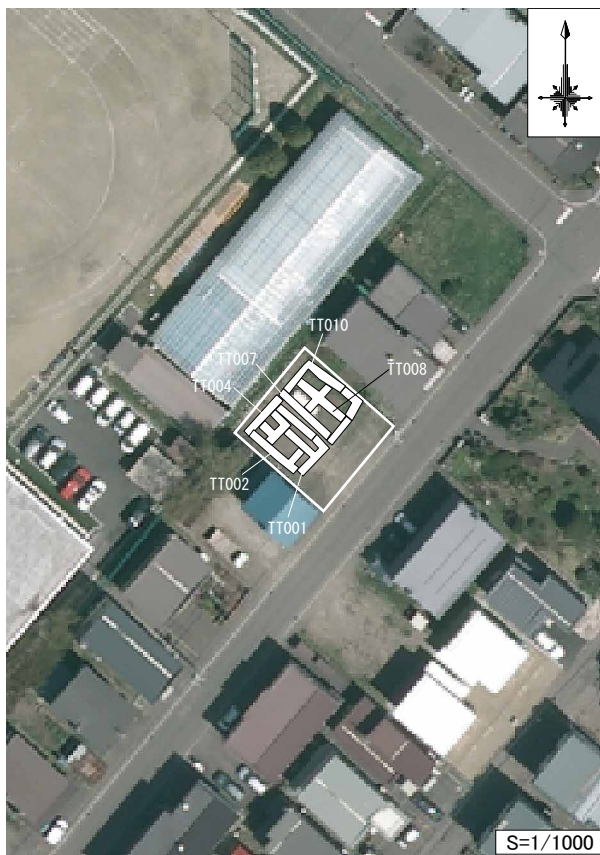
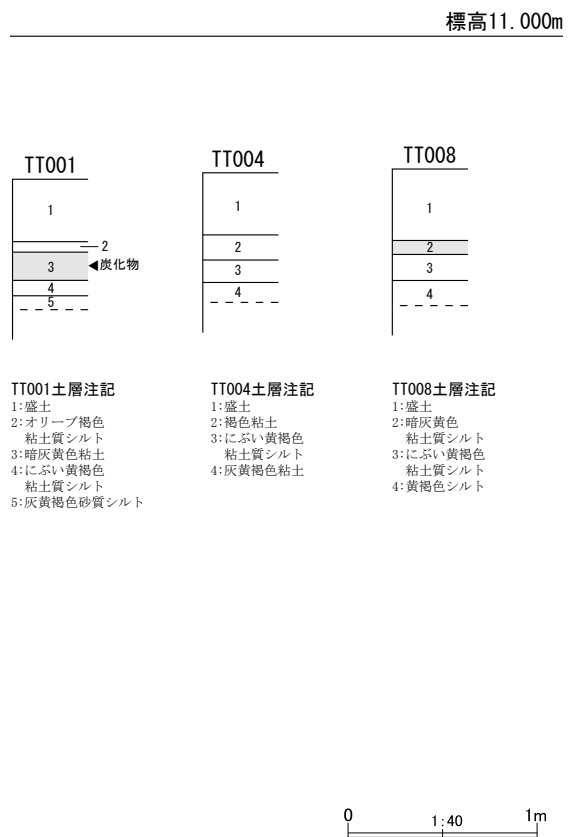
標高10.500m



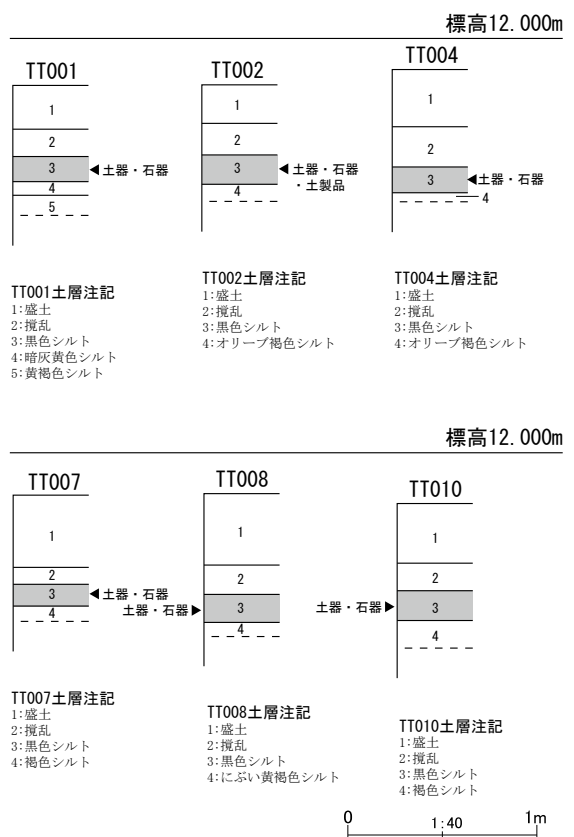
第16図 整理番号 19-3-310 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



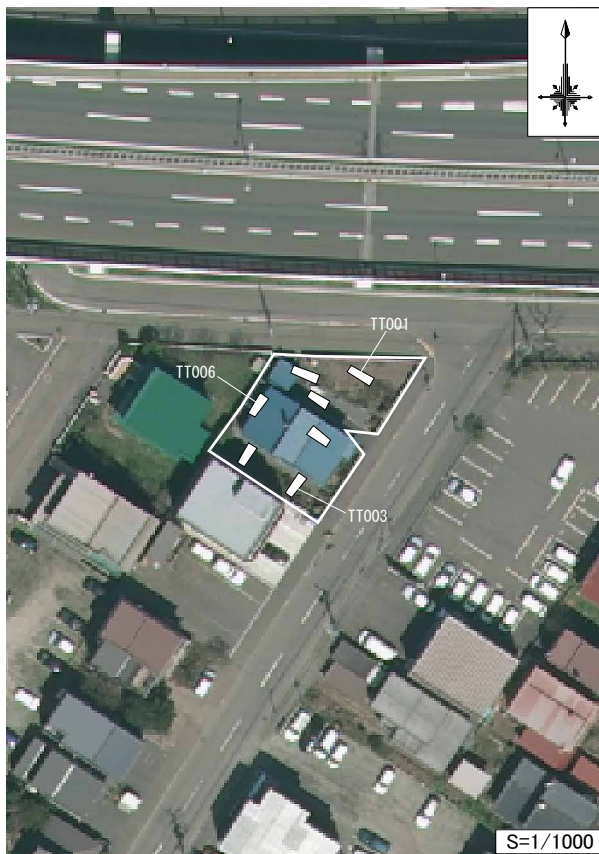
第 17 図 整理番号 19-2-302 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



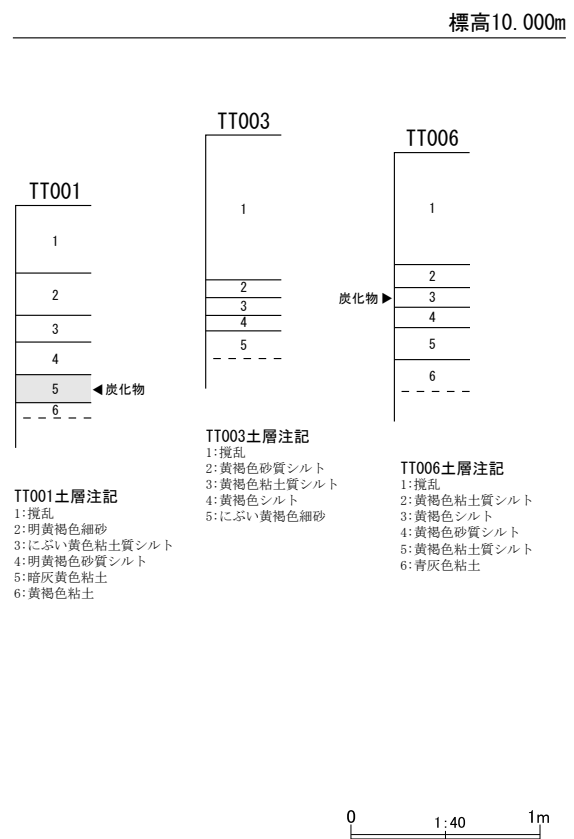
第 18 図 整理番号 19-2-305 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



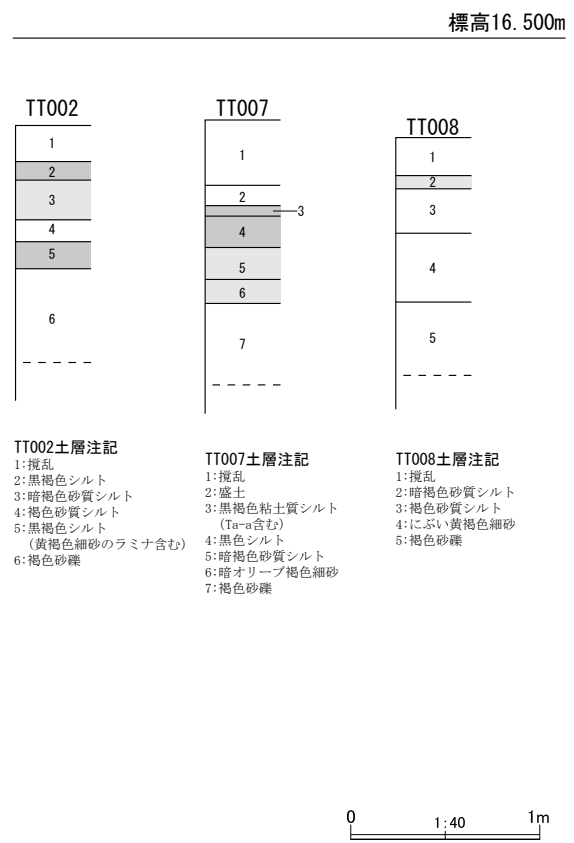




第19図 整理番号 19-2-306 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

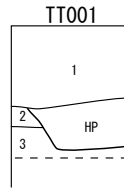


第20図 整理番号 19-2-307 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

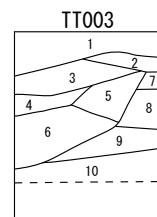




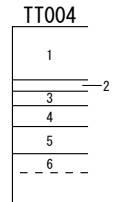
標高12.000m



**TT001土層注記**  
 1: 擾乱  
 2: にぶい黄褐色粘土質シルト  
 3: 明黄褐色シルト



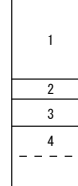
**TT003土層注記**  
 1: 擾乱  
 2: にぶい黄褐色粘土  
 3: にぶい黄褐色砂質シルト  
 4: 黄褐色細砂  
 5: 黄褐色砂質シルト  
 6: 褐色細砂  
 7: 黄褐色粘土  
 8: にぶい黄褐色粘土  
 9: にぶい黄褐色粘質シルト  
 10: 褐色粘質シルト



**TT004土層注記**  
 1: 擾乱  
 2: 明黄褐色シルト  
 3: 灰黄褐色粘土質シルト  
 4: にぶい黄褐色粘土質シルト  
 5: 黄褐色粘土  
 6: にぶい黄褐色シルト

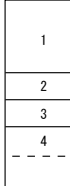
標高12.000m

TT005

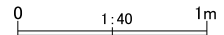


**TT005土層注記**  
 1: 擾乱  
 2: 黄褐色粘土  
 3: 黄褐色粘土質シルト  
 4: にぶい黄色シルト

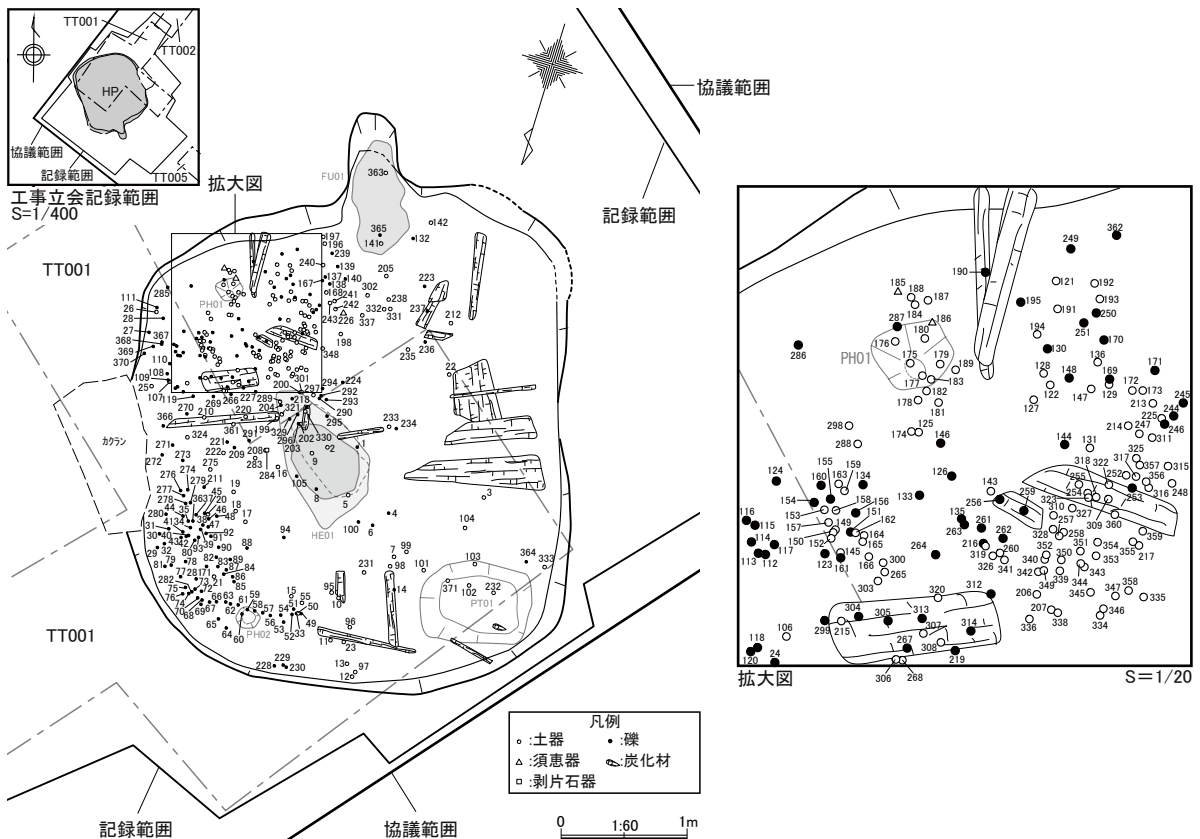
TT006



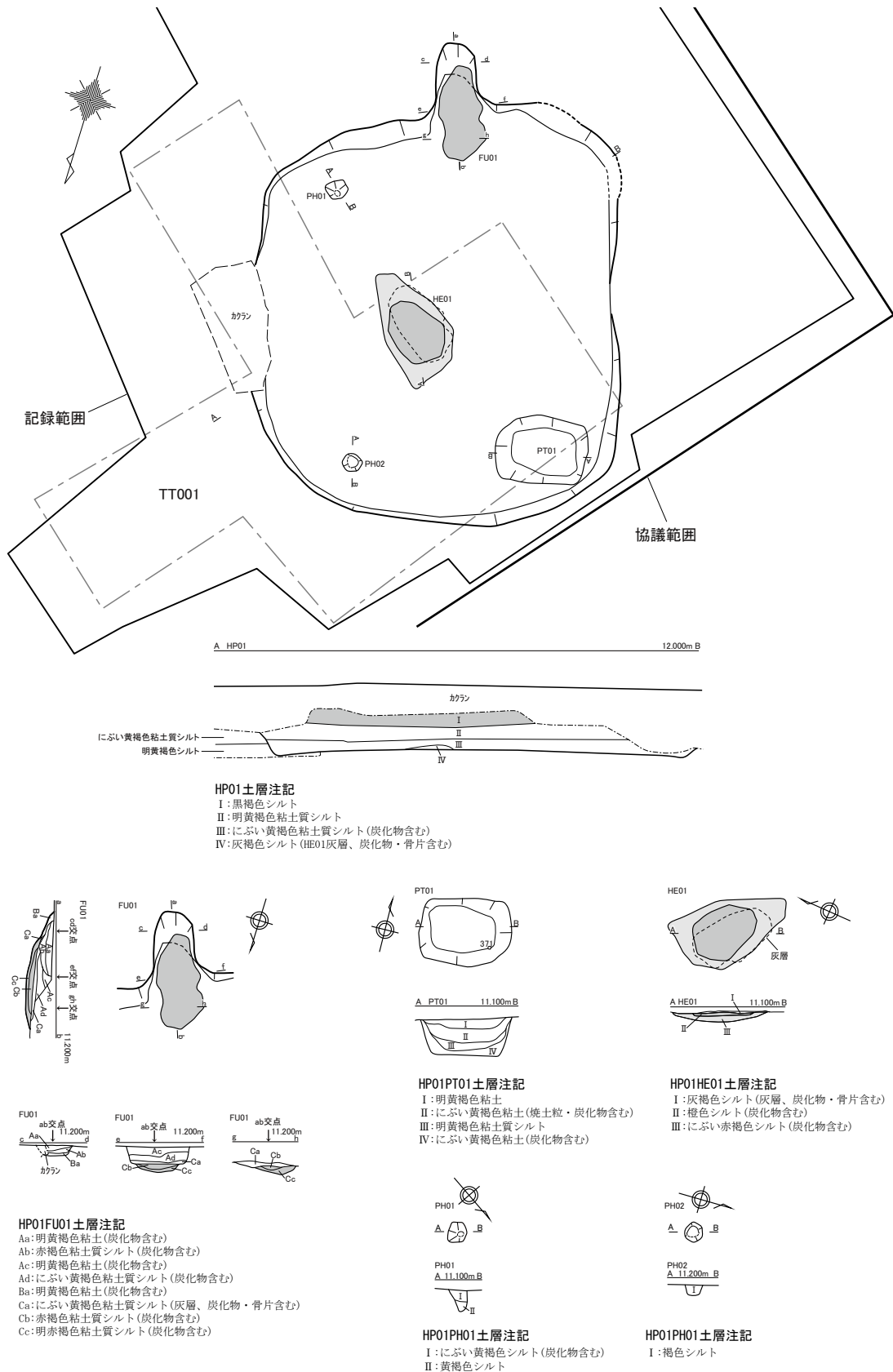
**TT006土層注記**  
 1: 擾乱  
 2: 黄褐色粘土質シルト  
 3: にぶい黄褐色シルト  
 4: 黄褐色シルト



第 21 図 整理番号 19-2-308 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



第 22 図 整理番号 19-2-308 竪穴住居跡遺物・炭化材実測図（覆土・床面）

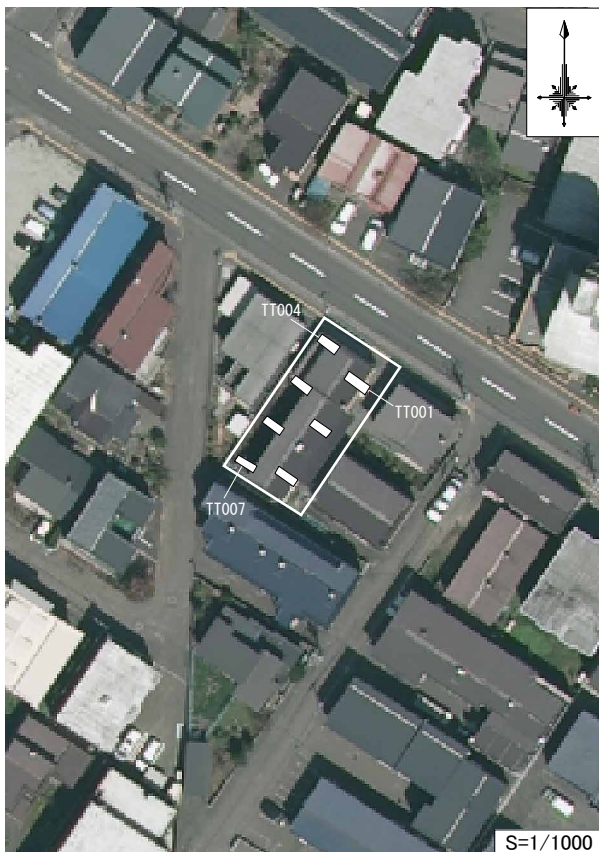
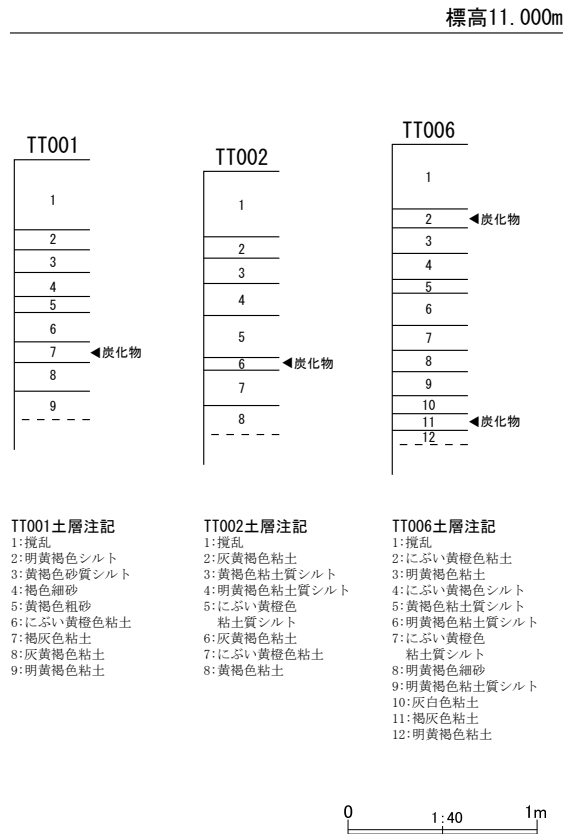


第23図 整理番号 19-2-308 竪穴住居跡及び付属遺構実測図

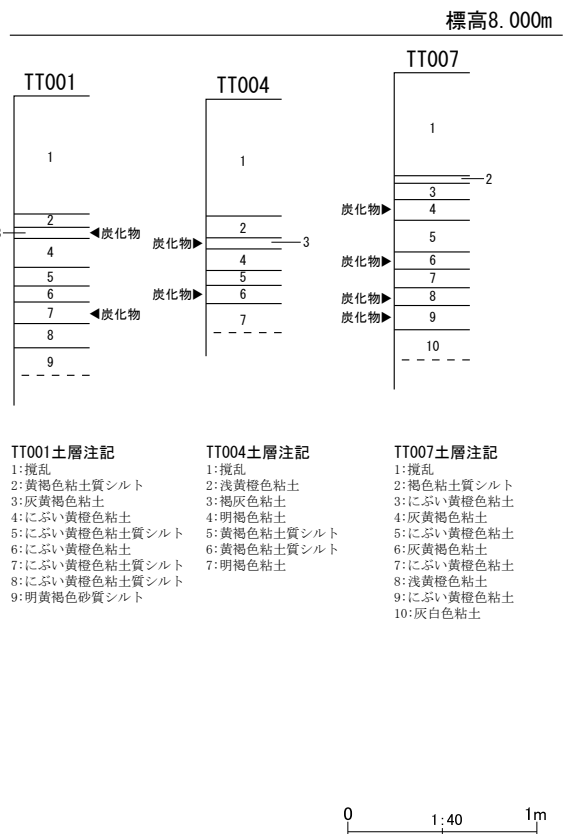
0 1:60 1m

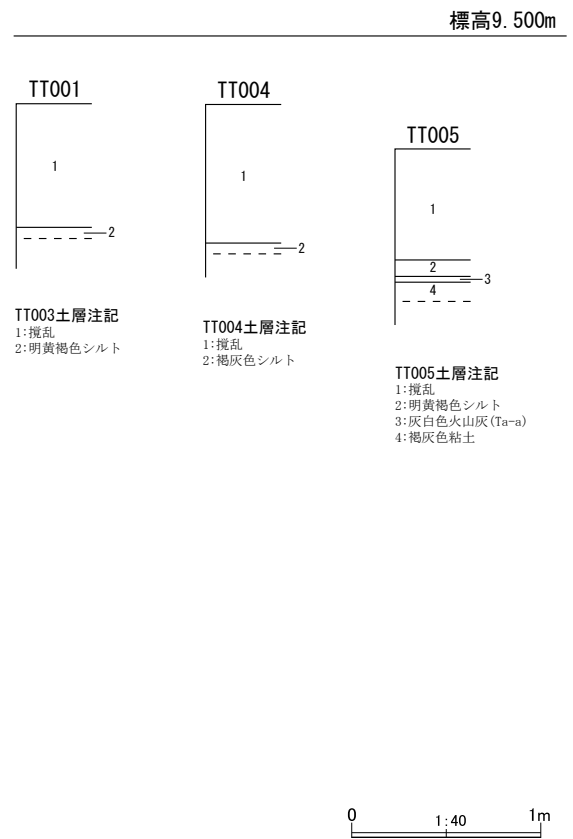


第 24 図 整理番号 19-2-309 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

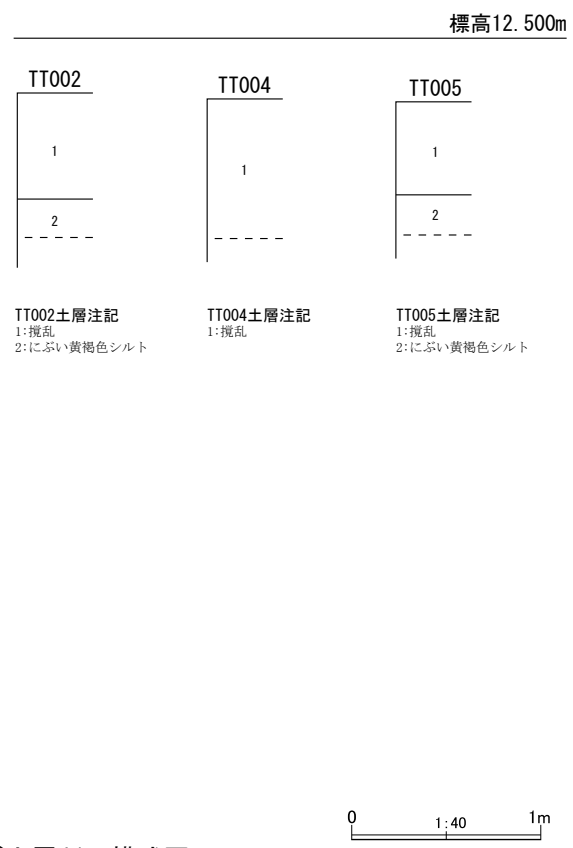


第 25 図 整理番号 19-2-310 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図





第26図 整理番号 19-2-311 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図



第27図 整理番号 19-2-312 試掘調査実施箇所及び土層断面模式図

## 第4章 工事立会

令和元年度に実施した工事立会は19件であった。工事立会の成果は一覧を第3表に、工事立会の実施位置を第1～4図に掲載した。

工事立会の結果、埋蔵文化財が発見された事業は2件である。そのうち、N434遺跡（整理番号19-2-308）は前章で記載しているため、残る1件について概要を記載する。

### 1 S558遺跡：整理番号17-3-323（第4・28図、図版13）

事業地は札幌市白石区本郷通3丁目北の旧白石区役所敷地に位置しており、事業地東側の一部がS558遺跡に該当している。地形的には西岡台地の北西部に立地する。地中埋設物調査に伴い工事立会を実施した。

立会の結果、盛土下位に自然堆積層が確認され、試掘調査（小針・野月2018、野月・小針2019）の結果と同様に、黒色ないしは黒褐色を呈する土層において、記録箇所No.02及びNo.03付近から遺物が18点発見された。遺物の出土範囲は、これら記録箇所の周辺にとどまっており、狭い範囲に遺物が散漫にみられる状況であることがうかがえた。なお、試掘調査の結果と同様に、遺構は検出されなかった。

遺物の種類ごとの内訳は、土器14点、石器4点であった。摩滅したものや小破片が多かったが、図版13Gでは7点を掲載した。1～5は深鉢の胴部である。1は文様などの観察が困難なほど磨滅しているが、2～5は地文がLR縦走縄文である。型式学的特徴から縄文後期初頭に相当するものと推測される。石器は全て黒曜石製であった。6は石鏃である。先頭部と右脚部が欠損している。7は円形搔器である。完形で下端部に腹面側からの急角度の加工によって刃部が作出されている。

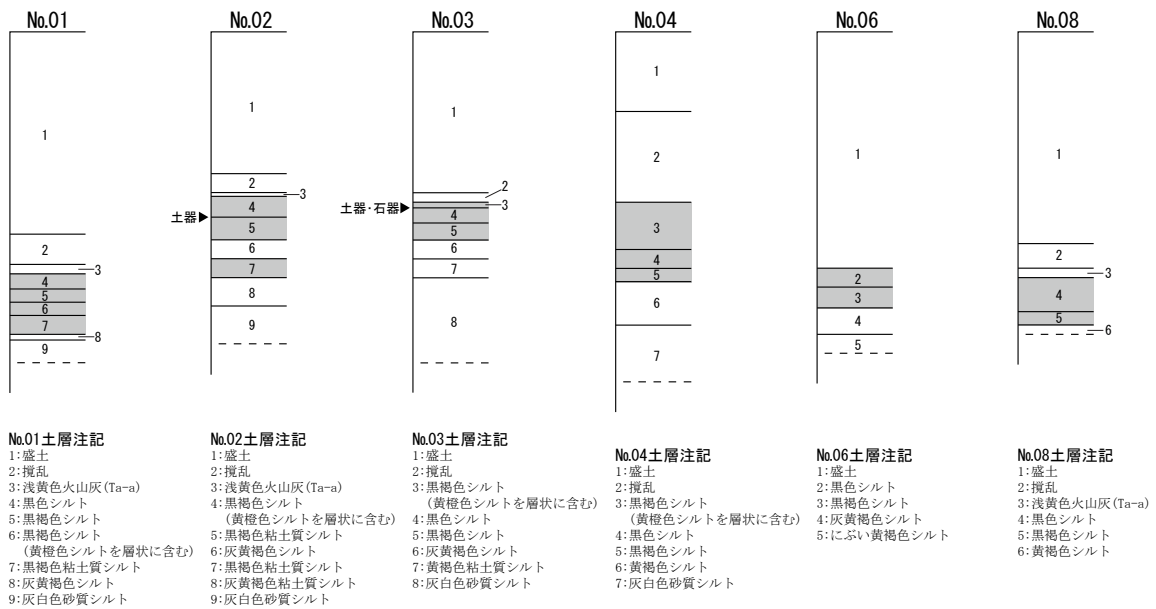
## 参考文献

- 赤松守雄・五十嵐八枝子・北川芳男・松下勝秀 1989「第一編 札幌の自然史」『新札幌市史 第一巻 通史一』高倉新一郎他編 札幌市
- 出穂雅実 2009『S228遺跡』（『札幌市文化財調査報告書89』）札幌市教育委員会
- 小針大志・野月寿彦 2018『平成29年度 調査報告書』（『市内遺跡発掘調査報告書10』）札幌市教育委員会
- 野月寿彦・小針大志 2019『平成30年度 調査報告書』（『市内遺跡発掘調査報告書11』）札幌市教育委員会
- 札幌市教育委員会編 2015『札幌市埋蔵文化財包蔵地分布図』（平成27年3月27日発行 第9改訂版）札幌市教育委員会

第3表 令和元年度工事立会一覧

通し 番号	整理番号	周知の埋蔵文化財 包蔵地	所在地	対象面積 (㎡)	事業者	事業種別	特記事項
1	17-3-323	S558遺跡	札幌市白石区本郷通3丁目北	7,683.87	札幌市	その他開発	縄文土器、石器
2	18-3-318	周知外 (可能性地)	札幌市北区百合が原2、11丁目	1,500.00	札幌市	公園造成	遺構・遺物なし
3	19-3-001	K441遺跡	札幌市北区北33条西9丁目	489.00	札幌市	道路	遺構・遺物なし
4	19-3-003	K438遺跡	札幌市北区北28条西10丁目	8.00	札幌市	下水道	遺構・遺物なし
5	19-3-004	S226遺跡	札幌市白石区北郷1条7丁目	531.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
6	19-3-005	K442遺跡	札幌市北区北37条～39条西3・4丁目	250.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
7	19-3-006	K515遺跡	札幌市北区篠路6～7条7～8丁目	250.00	札幌市	水道	遺構・遺物なし
8	19-3-305	T71遺跡	札幌市豊平区平岸1条18丁目	2,000.00	札幌市	公園造成	遺構・遺物なし
9	18-2-311	周知外 (大規模開発)	札幌市中央区北3条東10丁目～東12丁目	25,160.98	組合組織	その他建物	遺構・遺物なし
10	18-2-313	周知外 (可能性地)	札幌市中央区北20条西15丁目1-2	1,890.00	特殊法人	その他建物	遺構・遺物なし
11	19-2-001	S354遺跡	札幌市白石区本通1丁目南	138.60	民間会社	ガス	遺構・遺物なし
12	19-2-301	S226遺跡	札幌市白石区北郷1条7丁目	403.12	民間個人	個人住宅	遺構・遺物なし
13	19-2-304	N428遺跡	札幌市西区八軒3条東5丁目	41.98	特殊法人	その他建物	遺構・遺物なし
14	19-2-308	N434遺跡	札幌市西区八軒6条東5丁目	211.70	民間会社	個人住宅	竪穴住居跡、擦文土器、石器
15	19-2-313	S228遺跡	札幌市白石区北郷4条5丁目	224.79	民間会社	個人住宅	令和元年度立会予定
16	19-2-314	N425遺跡	札幌市西区二十四軒2条2丁目	3,322.05	医療法人	その他建物	令和元年度立会予定
17	18-2-619	K39遺跡	札幌市北区北13条西7丁目	284.00	国立大学法人	その他開発	遺構・遺物なし
18	19-2-601	K39遺跡	札幌市北区北17条西13丁目	9.40	国立大学法人	その他開発	遺構・遺物なし
19	19-2-604	K39遺跡	札幌市北区北20条西8丁目	149.00	国立大学法人	その他開発	遺構・遺物なし

※周知の埋蔵文化財包蔵地に該当するものの、「遺構・遺物なし」は抄録未掲載。



第 28 図 整理番号 17-3-323 工事立会実施箇所及び土層断面模式図





A 整理番号 18-3-310 事業地近景（北西から）



B 整理番号 18-3-310 事業地近景（南西から）



C 整理番号 19-3-301 事業地近景（南東から）



D 整理番号 19-3-301 事業地近景（北東から）



E 整理番号 19-3-303 事業地近景（西から）



F 整理番号 19-3-303 事業地近景（南から）



G 整理番号 19-3-309 事業地近景（北から）



H 整理番号 19-3-309 事業地近景（北西から）

図版 2 整理番号 14-3-312 試掘調査 (A ~ G)



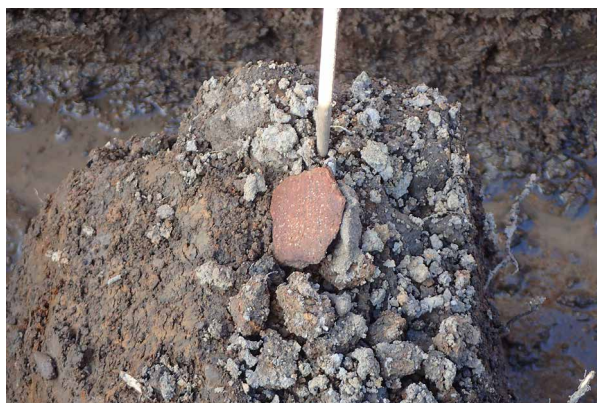
A 事業地近景 (東から)



B TT73-55 土層断面



C TT73-55 遺物発見状況 (西から)



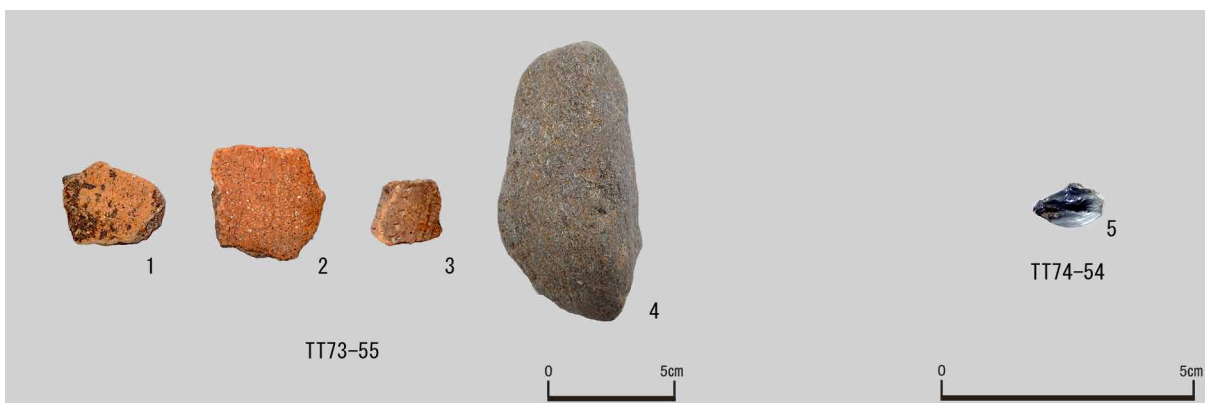
D TT73-55 土器発見状況 (南から)



E TT74-54 土層断面



F TT75-57 土層断面



G 試掘調査発見遺物



A 事業地近景 (東から)



B TT06-121 土層断面



C TT03-123 土層断面



D TT02-125 土層断面



E 事業地近景 (北西から)



F TT04-07 土層断面



G TT06-05 土層断面



H TT16-05 土層断面

図版4 整理番号 15-3-301 試掘調査 (A ~ G)



A 事業地近景 (南から)



B TT90-65 土層断面



C TT90-65 竪穴住居跡発見状況 (南西から)



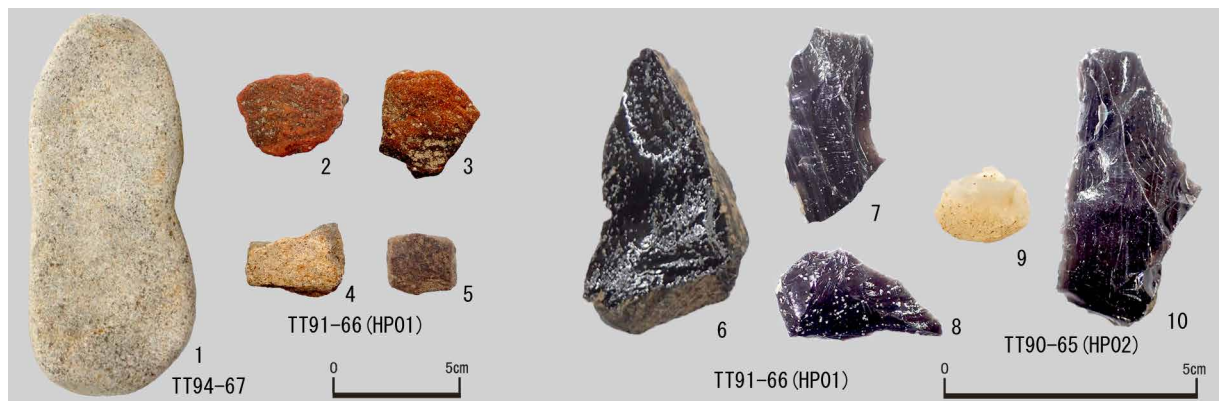
D TT91-66 土層断面



E TT91-66 竪穴住居跡発見状況 (南から)



F TT94-67 遺物発見状況



G 試掘調査発見遺物



A 事業地近景 (南東から)



B TT02-48 土層断面



C TT03-34 土層断面



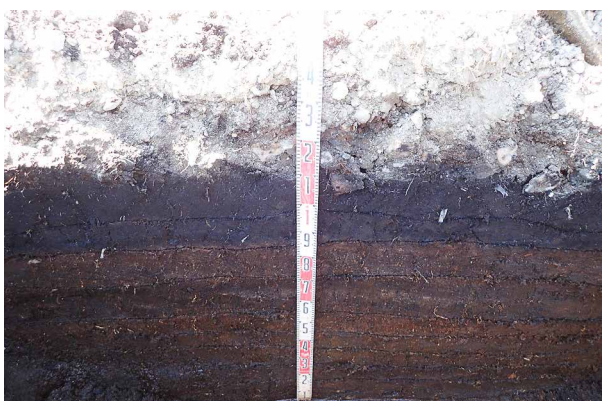
D TT02-01 土層断面



E 事業地近景 (東から)



F TT05-01 土層断面



G TT03-07 土層断面



H TT06-11 土層断面

図版 6 整理番号 19-3-310 試掘調査 (A ~ D)、整理番号 19-2-302 試掘調査 (E ~ H)



A 事業地近景 (東から)



B TT09-06 土層断面



C TT12-09 土層断面



D TT14-07 土層断面



E 事業地近景 (北から)



F TT001 土層断面



G TT004 土層断面



H TT008 土層断面



A 事業地近景 (南から)



B TT001 土層断面



C TT002 土層断面



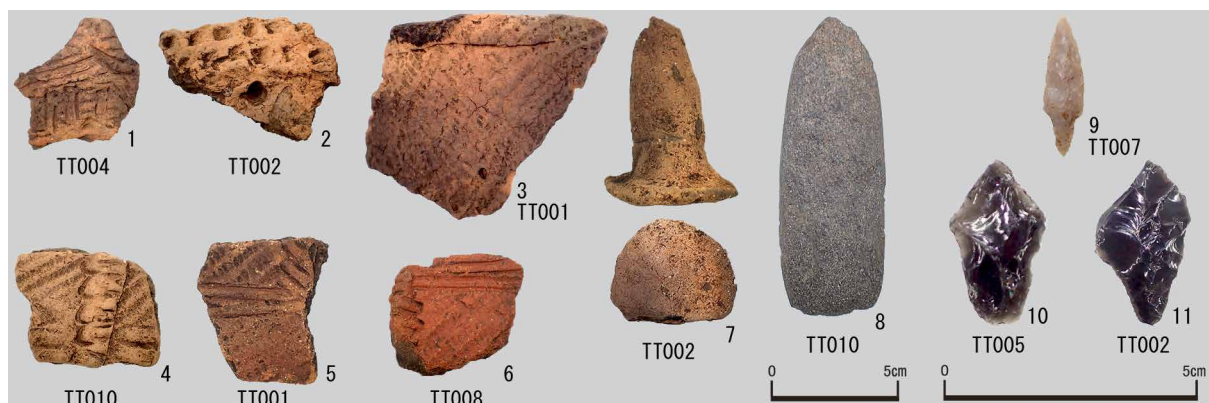
D TT002 土製品発見状況 (南東から)



E TT004 土層断面



F TT010 磨製石斧発見状況 (北東から)



G 試掘調査発見遺物

図版 8 整理番号 19-2-306 試掘調査 (A ~ D)、整理番号 19-2-307 試掘調査 (E ~ H)



A 事業地近景 (北東から)



B TT001 土層断面



C TT003 土層断面



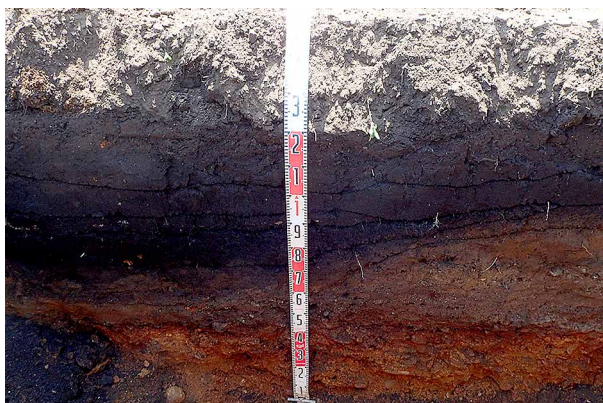
D TT006 土層断面



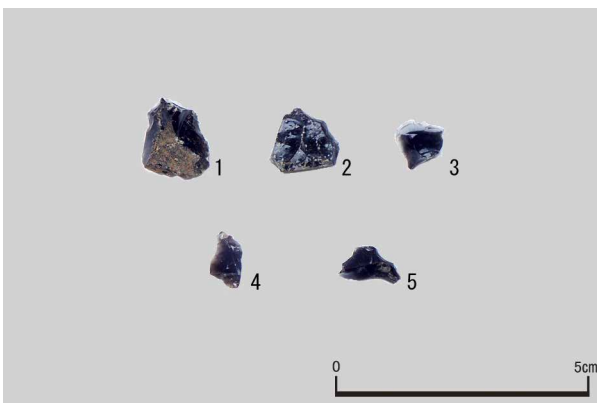
E 事業地近景 (南から)



F TT002 土層断面



G TT007 土層断面



H 試掘調査発見遺物





A 事業地近景 (西から)



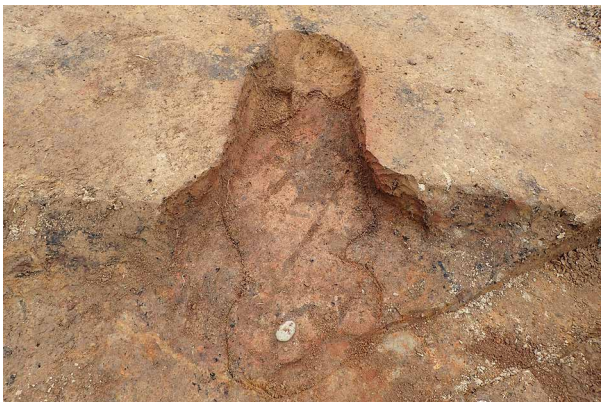
B TT001 竪穴住居跡発見状況 (東から)



C TT001 竪穴住居跡土層断面



D TT001 竪穴住居跡遺物発見状況 (北から)



E TT001 竪穴住居跡 FU01 発見状況 (北から)



F TT001 竪穴住居跡 FU01 土層断面 (東から)



G TT001 竪穴住居跡 PT01 土層断面 (南から)



H TT001 竪穴住居跡 HE01 発見状況 (西から)



A TT001 竪穴住居跡個体土器発見状況①(西から)

B TT001 竪穴住居跡個体土器発見状況②(西から)



C TT001 竪穴住居跡完掘状況(北から)

D TT001 作業状況(北西から)



E 試掘調査・工事立会発見遺物

図版 11 整理番号 19-2-309 試掘調査 (A ~ D)、整理番号 19-2-310 試掘調査 (E ~ H)



A 事業地近景 (北西から)



B TT001 土層断面



C TT002 土層断面



D TT006 土層断面



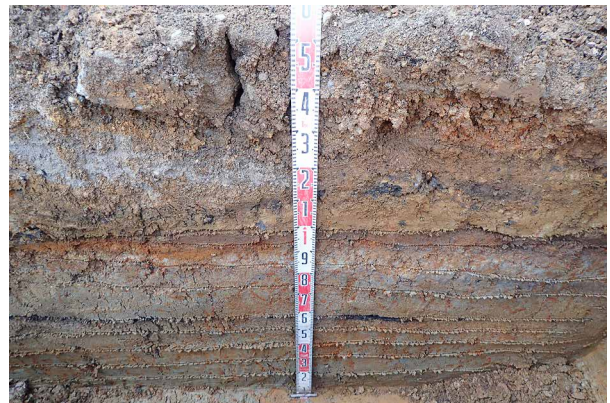
E 事業地近景 (北西から)



F TT001 土層断面



G TT004 土層断面



H TT007 土層断面



A 事業地近景 (北東から)



B TT001 土層断面



C TT004 土層断面



D TT005 土層断面



E 事業地近景 (西から)



F TT002 土層断面



G TT004 土層断面



H TT005 土層断面



A 事業地近景（東から）



B No. 02 土層断面



C No. 03 土層断面



D No. 03 付近 遺物発見状況①（東から）



E No. 03 付近 遺物発見状況②（西から）



F No. 05 土層断面



G 工事立会発見遺物



## 報告書抄録

ふりがな	れいわがんねんど ちょうさほうこくしょ							
書名	令和元年度 調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	市内遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	12							
編著者名	野月 寿彦							
編集機関	札幌市教育委員会 (札幌市市民文化局文化部文化財課埋蔵文化財係)							
所在地	〒064-0922 北海道札幌市中央区南22条西13丁目 TEL 011-512-5430 FAX 011-512-5467							
発行年月日	西暦 2020年 3月19日							
所収遺跡名	所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
N158遺跡	札幌市西区二十四軒3条3丁目	01107	158	43° 04' 28"	141° 18' 37"	2019/7/8	—	住宅
S228遺跡	札幌市白石区北郷4条5丁目	01104	228	43° 03' 30"	141° 25' 14"	2019/6/10・11	—	個人住宅
N434遺跡	札幌市西区八軒6条東5丁目	01107	434	43° 04' 56"	141° 19' 29"	2019/7/18・24・25、9/12	—	個人住宅
	札幌市西区八軒5条東5丁目			43° 04' 55"	141° 19' 18"			
K436遺跡	札幌市北区北25条西13丁目	01102	436	43° 05' 26"	141° 19' 42"	2019/6/20	—	個人住宅
				43° 05' 23"	141° 19' 43"			
K438遺跡	札幌市北区北29条西10丁目	01102	438	43° 05' 45"	141° 20' 00"	2019/10/28	—	個人住宅
K441遺跡	札幌市北区北32条西10丁目	01102	441	43° 05' 59"	141° 20' 02"	2019/6/24	—	住宅
K443遺跡	札幌市北区北38条西7丁目	01102	443	43° 06' 27"	141° 20' 08"	2019/9/26	—	住宅
K460遺跡	札幌市北区北31条西9丁目	01102	460	43° 05' 52"	141° 20' 03"	2019/11/1・5・6・7	—	その他開発
K496遺跡	札幌市北区屯田町～北区西茨戸	01102	496	43° 08' 48"	141° 19' 20"	2019/10/7・9・10・15	—	道路
K498遺跡	札幌市北区屯田町～北区屯田町	01102	498	43° 08' 44"	141° 19' 50"	2019/8/26・27・28・29	—	道路
S558遺跡	札幌市白石区本郷通3丁目北	01104	558	43° 02' 53"	141° 24' 22"	2019/7/1・2・3・4・5・9・16	—	その他開発
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
N158遺跡	遺物包含地	擦文				石器		
S228遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文				縄文土器、石器		
N434遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文		竪穴住居跡		擦文土器、須恵器、石器、礫		
K436遺跡	集落跡	擦文						遺構・遺物なし
K438遺跡	集落跡	擦文						遺構・遺物なし
K441遺跡	集落跡	擦文						遺構・遺物なし
K443遺跡	集落跡	擦文						遺構・遺物なし
K460遺跡	集落跡	擦文						遺構・遺物なし
K496遺跡	集落跡	縄文・続縄文・擦文				続縄文土器、石器、礫		
K498遺跡	集落跡	縄文		竪穴住居跡		縄文土器、石器、礫		
S558遺跡	遺物包含地	縄文				縄文土器、石器		

市内遺跡発掘調査報告書 12

令和2年3月16日 印刷  
令和2年3月19日 発行

## 令和元年度 調査報告書

発行者 札幌市教育委員会  
060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目  
編 集 札幌市埋蔵文化財センター  
064-0922 札幌市中央区南22条西13丁目  
TEL 011(512)5430  
FAX 011(512)5467  
印 刷 北海道印刷企画株式会社









